

# FFG調査月報

MONTHLY REPORT

あなたのいちばんに。  
FFG 福岡フィナンシャルグループ

5.  
6

2024  
VOL.163



# 坂の上の雲

懐かしい  
情景を  
探して

Looking for a nostalgic scene



▲酢屋の坂(北台)



▲上.北台武家屋敷  
下.谷町(商人の町)

●杵築市観光協会

住所：  
大分県杵築市  
大字杵築  
665-172



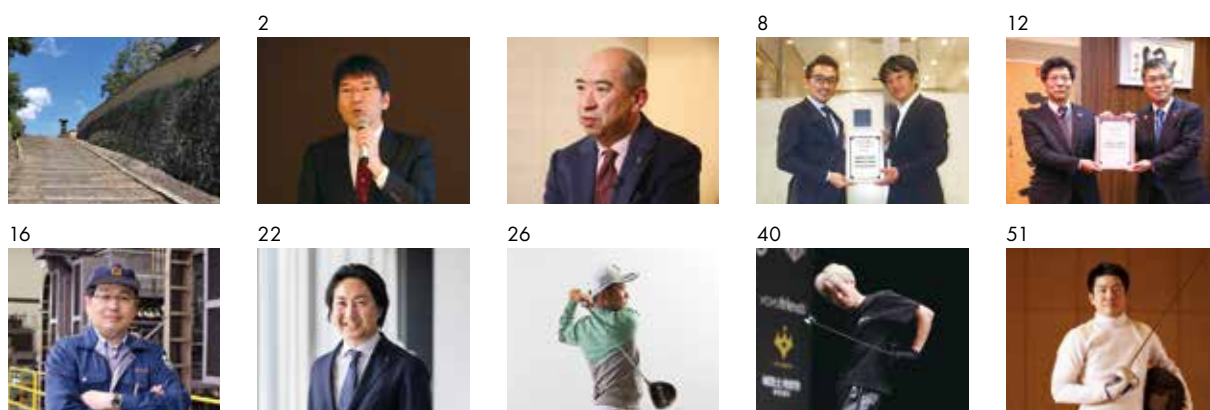
坂道の城下町「杵築」は2つの川に挟まれた台地につくられ、上級武士の住む北台と中級武士が住む南台、その間の谷間に商家が発展した。M字型の地形はどこへ行くにも坂道を通ることになり、それぞれに「勘定場の坂」「酢屋の坂」「飴屋あめやの坂」などの名がついた。

物資の輸送に配慮され人馬にやさしい石畳の坂は、巧みに計算された芸術的な傾斜角度や曲線を描き、石垣や土塀に溶け合い城下町の情緒を色濃く残す。いくつかの坂がアスファルトに飲み込まれることなく保存できたのは、地元の人たちの努力の賜物だろう。

登り坂の先には白い雲が浮かんでいる。少年は空を見上げ密かに大志を抱き、老人は行き交う人に笑顔で挨拶を返す。この坂道が街全体に独自の品格を醸し出している。

(文・阿井川 圭)

# CONTENTS



|                                                                                 |                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 懐かしい情景を探して<br>坂の上の雲                                                             | 30 海外駐在員事務所が伝えるグローバルの今<br>ホーチミン                                                                                                                                         |
| 2 地域と共生するFFG<br>今泉今右衛門講演会と<br>日本工芸会×飛鳥クルーズ作品展                                   | 32 地域とつながるFFG連携プロジェクト<br>「くまもとの物産商談会2024」による<br>お取引先企業の販路拡大支援<br><br>災害からの創造的復興<br>新生シリコンアイランド九州の実現を目指す<br>「くまもと産業復興エキスポ」への出展<br><br>「ミライ企業Nagasaki推進事業2024」<br>盛会裏に終了! |
| 8 九州企業のサステナビリティ<br>総合電機 株式会社<br>代表取締役 佐藤 淳一 氏<br><br>株式会社 堀内電気<br>代表取締役 堀内 重夫 氏 | 40 九州の星<br>クラウド ネイティブ プレゼンツ・WORLD YO-YO CONTEST 2023<br>1A部門 準優勝 中村 隆一 氏                                                                                                |
| 16 SDGsから見える10年後の会社の未来<br>株式会社 フクnetz<br>代表取締役 永島 誠一郎 氏                         | 45 長崎だより<br>障害のある方々と共に<br>～22年目の挑戦～                                                                                                                                     |
| 22 環境にやさしく、安心な未来のために<br>株式会社 球磨村森電力<br>代表取締役・球磨村復興推進アドバイザー 中嶋 崇史 氏              | 51 FFG Victory Road<br>福岡中央銀行 フェンシング選手 木村 芳徳                                                                                                                            |
| 26 GOLF MEGA STAR<br>プロゴルファー 長野 泰雅 氏                                            |                                                                                                                                                                         |

バックナンバー  
のお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。



## 今月の表紙 十八親和銀行 本店ビル(長崎市)

表紙の写真は、「十八親和銀行 本店ビル」です。1969年に竣工した地下1階、地上10階、塔屋2階建ての建物は、当時旧十八銀行の本店として使用されていました。1994年には本店の隣地に地上9階建ての扇形の別館も竣工し、3階から9階まで本館と連絡する渡り廊下が設置されました。2020年10月1日に十八銀行と親和銀行が合併した後は「十八親和銀行」の本店ビルとして使用されています。

長崎随一の観光名所である出島に隣接しており長崎新地中華街にも近く、夜にはライトアップも行われ、出島エリアの景観の一部として地域の皆さまに親しまれています。

# 「今泉今右衛門講演会と

# 日本工芸会×飛鳥クルーズ作品展」

人間国宝・今泉今右衛門氏の講演会と

「飛鳥Ⅱ」に展示された伝統工芸作品展を開催。

## 「飛鳥Ⅱ」で展示された 伝統工芸作品が福岡に

このたび、FFG（福岡銀行・熊本銀行）は、日本が誇る伝統工芸を守り、未来に残していくために、私たちが掲げる地域創生やSDGs・ESG活動にもつながる企画として、アンカー・シップ・パートナーズ株式会社（以下、アンカー・シップ・パートナーズ）が主催した「今泉今右衛門講演会と日本工芸会×飛鳥クルーズ作品展」に協賛しました。

「今泉今右衛門講演会」は2月13日（火）に福岡大名のザ・リッツ・カールトンホテルにて、「日本工芸会作品展」は同13日（火）～17日（土）に隣接する福岡大名ガーデンシティ・テラス「GROWTH」で開催されました。



今泉今右衛門氏の作品



アンカー・シップ・パートナーズ 篠田社長

日本工芸会は、重要無形文化財保持者（人間国宝）を中心に、陶芸や染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の伝統工芸作家、技術者などによって組織されます。総裁は佳子内親王殿下が務められ、正会員数は1200名（うち人間国宝50数名）にもぼり、国内最大の作家団体となっています。

その日本工芸会と大型クルーズ船「飛鳥Ⅱ」を運航する「郵船クルーズ株式会社」の主要株主「アンカー・シップ・パートナーズ」は、わが国の数百年・千年以上続く伝統文化を残し、発展することを目的に、2021年に連携を発表しました。その後、2022年から「日本工芸会×飛鳥クルーズ」と題して「飛鳥Ⅱ」の船内にて展示販売を開始。人間国宝らによる選りすぐりの逸品の数々が見られるとあって、大変好評を得ています。

## 人間国宝が語る

### 有田焼の400年の歴史

講演会では、まずアンカー・シップ・パートナーズ代表取締役社長篠田哲郎氏しのだてつろうが登壇し、「事の始まりは、日本が誇る伝統工芸文化を船に乗せたいと今泉今右衛門先生に相談したことでした。これまで2年間、地球を3周するほどの船旅をしながら、150点ほどを船内にて展示販売してきました。これらの作品をもっと多くの方に見ていただきたいと、今回はふくおかフィナンシャルグループのご協力での機会を得ることができました。今後連携して、日本の伝統工芸を盛り上げていきたいと思っています」と、ご挨拶されました。

続いて、人間国宝であり、日本工芸会の副理事長を務める十四代今泉今右衛門氏が登壇。「有田焼は、伊万里を積み出し港としてヨーロッパに向けて輸出されてきました。当初は全てヨーロッパからの注文によって形や絵柄が決められていましたが、江戸中期になると日本国内からも注文が増えるなど、時代のニーズに合わせて作られてきた歴史があります」と、約400年前に誕生し、欧米でも高く評価されてきた有田焼の歴史や鍋島藩の献上品として重用された色鍋島についてお話しいただきました。



講演会の様子



今泉今右衛門氏の講演



飛鳥Ⅱ船内での展示作品

## 色鍋島の伝統を現代に

### 十四代続く今右衛門窯の歴史

次にお話いただいたのは、江戸時代から370年もの「色鍋島」の技術を継承し、重要無形文化財「色絵磁器」で高く評価されている今右衛門窯。そして、十四代今泉今右衛門氏自身の作品づくりについてです。

中でも十四代の名を広く知らしめている「墨はじき」の仲間がかかる技法を生み出した経緯については、どのような発想と技術で生み出されたものなのか、絵柄とともに詳しく語っていただきます。今右衛門家では、もともととは

色鍋島の上絵付けだけを受け持ち、一子相伝の技法として受け継いでいました。特に元禄時代の豪華絢爛な時代に重宝されてきました」

しかし、明治時代になるとニーズが次第に変わり、十代、十一代、十二代は技法を守るのに大変苦労したそうです。「十三代は、伝統工芸というのは現代の人に向けた新しいものでなければならぬという考えがありました。そこで生まれたのが『薄墨』といわれるグレーの色を吹きつける技術でした」。照明が明るくなった現代においては、逆にこの落ち着いたグレーの色合いが新鮮に見えると高く評価され、「伝統工芸とは人々の暮らしに応じて変化するものであることを実感した」とお話しくださいました。

### 花や雪などをモチーフに

### 新たな「墨はじき」が誕生

今泉氏は、大学を卒業し、福岡で就職後、有田へと戻ります。「江戸時代から『墨はじき』という技法がありました。これは墨で描いた文様が素焼きの窯で焼くと、墨が焼き飛び白抜き文様となる技法です。私は、この技法をさらに進化させようと試行錯誤してきました」



飛鳥Ⅱ船内での展示作品

この技法を活かし、花や雪の結晶などをモチーフにした独自の作風が生まれたことで、今泉氏は日本工芸展で入賞を果たします。「この墨はじきの技法を用いて様々な作品を生み出してきましたが、自分だけの考えでは先細りになってしまいます。いろんな方のアイデアも取り入れることで、作品が変化してきたと思います」。一つひとつの作品を文様がいかにも生まれてきたか、エピソードとともにご紹介いただきます。

また、飛鳥Ⅱでの展示については、「日本の伝統工芸は自然の素材と共存してきた大切なものですが、一般の方にはまだまだ知られていません。クルーズ船での展示によって、多くの方に身近なものに感じてもらえたのではないのでしょうか」と、手応えを感じていらっしゃる。

## 人間国宝の作品など約35点を展示 能登半島地震の復興にも一役

開催された「日本工芸会×飛鳥クルーズ作品展」では、その飛鳥Ⅱで国内外をクルーズしてきた、日本工芸会所属の作家の作品が展示販売されました。作品は、陶芸の人間国宝である十四代今泉今右衛門氏、博多人形の名工として知られる中村信喬氏の作品など、約35点が集まりました。この展示会での売り上げの一部は、今年1月1日に起きた「能登半島地震」によって大きな被害を受けた輪島塗復興のための寄附に充てられます。

今泉氏は講演会の中でも、「輪島塗の工房は全焼や全壊と、壊滅的な状況です。そのような中でも瓦礫の中から道具を取りだすなど、少しでも伝統を残そうと奮闘されています。輪



日本工芸会作品展に展示された作品



日本工芸会作品展に展示された作品

島塗は輪島で作らなければ意味がなく、このままでは途絶えてしまいます」。発災後、懇意にされている輪島塗の作家の先生に連絡を取って、支援を申し出られたそうです。「技術は残っています。一からのスタートになるかもしれないが、技術の継承のためにも何かお手伝いできればと思っています」と、熱く語られました。

FFGは今後も、伝統工芸の継承と発展への支援を通じたSDGsの目標達成を目指し、伝統工芸と地域のお客さまをつなぐことで、社会貢献を続けてまいります。

### 十四代今泉今右衛門 Profile

1962年、佐賀県有田町に生まれ、父・十三代今右衛門の許、家業に従事しながら数々の賞を受賞する。2002年に十四代今泉今右衛門を襲名、「色鍋島今右衛門技術保存会」の会長となり色鍋島の代々の仕事を継承。2014年には、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される。江戸期からある染付の中に白抜き文様を作るときに用いる「墨はじき」と呼ばれる技法に着目し、

「藍色墨はじき」「墨色墨はじき」、更には墨はじきを重ねていく「層々墨はじき」、微妙な白の雰囲気「雪花墨はじき」と意欲的に作品づくりに励み、品格の高い、現代の色鍋島をいかに創出するかという仕事に挑み続けている。



日本工芸会作品展に展示された作品

# 日本の文化や地域の魅力を 「飛鳥クルーズ」を通じて発信

アンカー・シップ・パートナーズは、「我が国の海運と金融をつなぐ」という考えの基、多くの船舶への投資実績を誇る船舶投資ファンド運営会社です。

「飛鳥クルーズ」を運行する郵船クルーズ株式会社的主要株主でもあり、「飛鳥クルーズ」を通じた日本の文化や地域に根差した魅力の発信にも積極的に取り組んでいます。2025年に就航予定の「飛鳥Ⅲ」でも、その取り組みを一層加速させていく予定です。

その一つがクルーズ客船「飛鳥Ⅲ」アート公募展。本公募展は、2025年に就航する「飛鳥Ⅲ」の船内に約2年間常設展示する絵画・写真を、年齢や国籍、受賞歴などに関係なく、「日本の四季を旅する」というテーマで、一般の方々から広く公募するものです。

応募作品は、「飛鳥Ⅲ」に作品を展示する

日本画家の平松礼二氏、土屋禮一氏、千住博氏、洋画家の田村能里子氏、漆芸家で人間国宝の室瀬和美氏のほか、海洋写真家の中村庸夫氏、飛鳥クルーズアンバサダーの小山薫堂氏と、いずれも日本の芸術文化を牽引する著名な方々による審査を経て、入選作品を最大127点選定します。入選した作品はすべて船内で展示される予定です。

アンカー・シップ・パートナーズは日本郵船とともに本公募展のメインスポンサーとして協賛しています。

福岡銀行においても、文化芸術の発展に資する本公募展に協賛し、持続可能な社会の実現に向けた支援を行っています。

本公募展への作品の応募に際しては、左ページの広告から特設WEBページで最新情報をご確認ください。

## Company Profile

### アンカー・シップ・パートナーズ株式会社

|         |                                                                                    |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地     | 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン 20階                                                          |
| 設立      | 2010年9月                                                                            |
| 事業内容    | 船舶投資ファンド運営<br>アンカー第5号、第4号、第3号、第2号船舶投資<br>ファンドの運営主体<br>船舶投資および船舶金融に関するアドバイザリー<br>業務 |
| 代表取締役社長 | 篠田 哲郎                                                                              |
| 職員数     | 27名                                                                                |



会社ホームページは  
こちらからどうぞ

創造力を  
船出させよう。



クルーズ客船

# 飛鳥Ⅲ アート公募展

| 応募申込期間 2024.5.22<sup>WED</sup> - 8.31<sup>SAT</sup>  
• 入選作品127点

2025年に就航する「飛鳥Ⅲ」の船内で常設展示するアートを募集します。  
テーマは、「日本の四季を旅する」～あなたの地域の自然の風景～。  
多種多様な作品で、インクルーシブな船内アート空間を目指します。  
さあ、あなたの作品を「飛鳥Ⅲ」に乗せ、世界中を旅させてみませんか？



グランプリ 1点

副賞 300万円相当

賞金100万円 + 200万円相当の「飛鳥Ⅲ」クルーズペアチケット

準グランプリ 3点

副賞 100万円相当

賞金30万円 + 70万円相当の「飛鳥Ⅲ」クルーズペアチケット

審査員賞 7点

副賞 10万円相当

賞金10万円

審査員  
(敬称略・順不同)

平松礼二  
フランス芸術文化勲章  
シュヴァリエ受贈

土屋禮一  
日本藝術院会員

千住博  
日本藝術院会員

田村能里子  
洋画家・壁画家

室瀬和美  
重要無形文化財  
「蒔絵」保持者

中村庸夫  
海洋写真家

小山薫堂  
飛鳥クルーズ  
アンバサダー



応募に際しては必ず事前に下記特設WEBページで最新情報をご確認ください。

[https://voyage.asukacruise.co.jp/a3art\\_koubo/](https://voyage.asukacruise.co.jp/a3art_koubo/)

主催：郵船クルーズ株式会社

協賛：日本郵船

Anchor Ship Partners

ARTerrace

株式会社大分銀行

株式会社福岡銀行

株式会社秋田銀行

株式会社クルーズクラブ東京

株式会社広島銀行

株式会社福岡銀行

株式会社北國銀行

TSUBASAアライアンス

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDG5コンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

## 総合電機株式会社

代表取締役

佐藤 淳一氏

取引店／十八親和銀行 本原支店

「ゼロからイチへ」  
創出する姿勢をさらに強め、  
社員全員でチャレンジする

機器の販売卸業から  
設計施工・メンテナンスまで

当社は現会長の佐藤孝善が1977年1月に長崎県長崎市愛宕町にて個人創業した電気工事業者です。同年8月に総合電機販売会社を設立し、2006年6月に総合電機株式会社へ名称変更致しました。照明器具やエアコン、その他電気設備機器等の販売や建物の電気工事や空調

換気、給排水設備工事全般の設計施工及びメンテナンスや施設の省エネコンサルティング事業も行っています。当社では工事の一連の流れをすべて自社で対応できる体制を整えており、得意とする景観整備における外灯などの照明器具の設置工事では長崎県下でも屈指の規模を誇っています。ホテルや商業施設、その建物に付帯する外構の照明などを多数施工しており、皆様も目にされる機会も多いと思います。

### 太陽光発電事業へ参入

当社では2010年から太陽光発電設備の設置工事を開始しました。開始当初は太陽光発電パネルの販売会社から工事を請け負う形で

スタートしましたが、徐々に事業を拡大し、2019年からは太陽光発電所の開発や販売も行つて本格的に事業を開始しています。現在では会社全体の売上の3割を占める、当社の中核事業となっています。

太陽光発電パネルや関連機器はメーカーごとに価格や保証期間、保証内容やアフターフォローの体制に違いがあり、顧客の希望・要望に合う



社員集合写真(大村市の自社太陽光発電所にて)



太陽光発電設備の施行実績(西海市役所)

メーカーを提案できることが強みです。そのうえで太陽光発電設備を設置後も遠隔で状況を監視するシステムを備え、故障や災害による破損などに即座に対応できる体制を整えています。

## 西海市と連携協定を締結

2022年1月に西海市と「電気自動車及び再生可能エネルギーを核とした災害に強いカーボンニュートラルな地域づくりに係る連携協定」を締結しました。

西海市は環境対策や再生可能エネルギーの普及、防災対策などに

取り組み、持続可能で強靱なまちづくりを目指しています。連携協定は当社以外にも十社程度参加しており、私たちはソーラーカーポートやEVインフラのプランニングや整備、太陽光発電設備のプランニングや整備、および地域マイクログリッド構築に向けたコンサルティングや蓄電池設置に関するプランニング・整備などを行っています。

AIとの融合で  
よりよいエネルギーの  
活用に向けて

現在、太陽光発電は、FIT制度

における売電において使用されない余剰電力は捨てている形となります。当社は従来捨てている電力を活用するため、株式会社西海クリエティブカンパニーと連携し、発電電力を「捨てない」システムを作ろうとしています。

具体的には蓄電池を利用します。AIで発電した電力を制御し、電力が余った際には設置した蓄電池へ電力を貯めておきます。その後夜間など発電できない時間帯に蓄電池の電力を使用するという方法です。この方法ですと発電した電力を100%活用することができるため、経済的にも環境面でも自信をもって提案できると考えています。

## ゼロからイチへ

西海市との連携協定では新たなチャレンジとして脱炭素事業に参画しました。有難い事に他自治体からお声掛け頂き、ご支援させて頂いております。これからも「ゼロからイチへ」をスローガンに何もないところから事業や取り組みを産み出す、創出する姿勢をさらに強く持つて、社員全員ですべてにチャレンジし続けていきたいと思っています。

## 脱炭素社会に貢献するとともに、 会社の持続可能性を高める

### 太陽光発電事業の可能性

2012年7月に施行された固定価格買取制度（FIT法）によつて、売電を目的とした太陽光発電事業が爆発的に伸張しました。しかし現在ではFIT法へ移行したことにより売電価格が変動するため売電を目的とした太陽光発電事業はやや下降気味となっています。

当社が現在、顧客へ提案しているのは「自家消費型」の太陽光発電です。顧客へ保有する建物や土地に太陽光発電設備を設置していただき、発電電力を自家消費することで自社で消費する電力を再生可能エネルギーへ切り替えていく、そんな提案を行っています。顧客としても脱炭素社会への貢献と同時に電力コストを抑えることができます。電力会社の送電網を利用して遠隔地にある自社の発電所で発電した電力を自家消費できる整備も広がりつつあります。さらに今後、技術革新により蓄電池の性能が向上すると、太陽光発電の需要はますます増加していくものと考えています。

### BCP対策の提案

近年気候変動リスクは相当なものとなっています。台風や豪雨による災害は以前は考えられないほどの被害を出していて、それに伴う停電や断水など人々の生活を脅かしています。

電気に関わる者として、停電による生活や事業継続に対するリスクは極力回避し、またその提案を行うことは社会に対する責務と思っています。

以前西海市の大島でクリニックを運営されている方から「停電で診察が数日間できなかった」との話をお聞きました。当社は太陽光発電設備と蓄電池を合わせて設置して、停電時に必要最低限の電子機器を2日間運用できるシステムを提案し施工しました。「これで停電になっても一定期間は診察ができる。」とご評価いただいたことがあります。

今後とも当社の事業をご提案することで、社会に貢献できることを誇りとして事業活動を行って参ります。

### エンゲージメントを高める

私は自社の体制を維持し、事業を発展させていくうえで、最も重要なのは社員満足度を高める

ことだと考えています。これまでも社員の資格取得の支援や福利厚生などを充実させ、労働環境の改善に向け尽力してきました。実際に離職率は非常に低く、一定の評価を社員からも得られていると自負しています。

しかし近年のコロナ禍や気候変動による豪雨や災害などで働き方に対する考え方は日々変わっています。

また、長崎県の人口は今後さらに減少を続け、2020年には131万人であった人口が2050年には86万人まで減少するとの推計結果もあります。

当社はおかげさまで現在若い社員や女性社員が増えています。今後当社が存続し、持続していくためには企業価値を高めるとともに、従業員満足度を高めることを常に意識しながら取り組む必要があると考えています。



佐藤淳一社長

## サステナブルファイナンス

### 十八親和銀行の

### FFG本業支援ローンを利用

2023年10月に取引いただいている十八親和銀行本原支店にて、FFG共通商品であり、また十八親和銀行で新しく取り扱いを開始したサステナブルファイナンス「(FFG)本業支援ローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を利用しました。

本ローンは融資時に当社が取り組んでいるサステナビリティの目標などを評価していただき、その後目標の達成状況により金利を引き下げるといったインセンティブを得られる商品です。融資の際に発行していただいた評価書は非公開とのことですが、今回ながら皆様へご紹介できませんが、今回の手続きにより改めて自社の取り組みや考え方を再認識するきっかけになったと思っています。



〈FFG)本業支援ローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)実行の記念楯を進呈(左から佐藤社長、小畑支店長)

世の中は気候変動や災害、世界各地で起きている戦争・紛争など様々な要因で激動の時代を迎え、人々の意識や考え方も日々変わっていています。そのような状況の中、地元企業が存続できるように金融機関も引き続き支援していただきたいと考えております。

## 総合電機 株式会社

■本社所在地：〒852-8133 長崎市本原町30番19号

■電話番号：095-849-1313

■事業内容：●照明器具、空調機器、その他電気設備機器等の販売卸業(代理店・特約店)

- 電気設備工事、空調換気設備工事、給排水設備工事設計施工及びメンテナンス
- 太陽光発電設備のご提案、設計施工及びメンテナンス
- 省エネ、電気代削減のご提案、補助金サポート
- EV車用充電器等のインフラ整備(設計施工)等



FFGでは企業のSDGs/ESGの取り組みを支援しています

FFG公式  
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ  
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ  
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに  
関することは  
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社堀内電気

ほりうちでんき

代表取締役

堀内重夫氏

ほりうちしげお

取引店／福岡銀行 春日原支店

## 省エネから創エネまで確かな技術と信頼で未来を提案

### 憧れだった電気工事士

当社は福岡市博多区浦田に本社を置き、株式会社eパワー、有限会社太宰府電工、株式会社アール、株式会社雄電社のグループ会社4社とともに、九州の全県で一般電気設備工事や太陽光発電設備設置工事を中心に事業を展開しています。社長の私は昭和33年に長崎県の杵岐で生まれ、幼少期を対馬で育ちました。父が九電工の社員で離島に電気を通す仕事に携わっていて、

離島の住民が父をヒーローのように思ってくれていたのを目の当たりにしていました。私はそれから電気工事という仕事にあこがれを持ち、福岡に転居後は工業高校の電気科に進学して、卒業とともに電気工事の会社に勤めました。そこで5年ほど経験を積み重ね、晴れて電気工事士として独立しました。そうして1986年に堀内電気工事店を創業し、1997年に株式会社堀内電気を設立しました。個人創業から38年で、今や関連会社を含め73名の社員が頑張ってくれて



社長室で対談の様子。右から堀内社長、豊田支店長(福岡銀行、現・伊田支店長)



太陽光発電設備設置工事

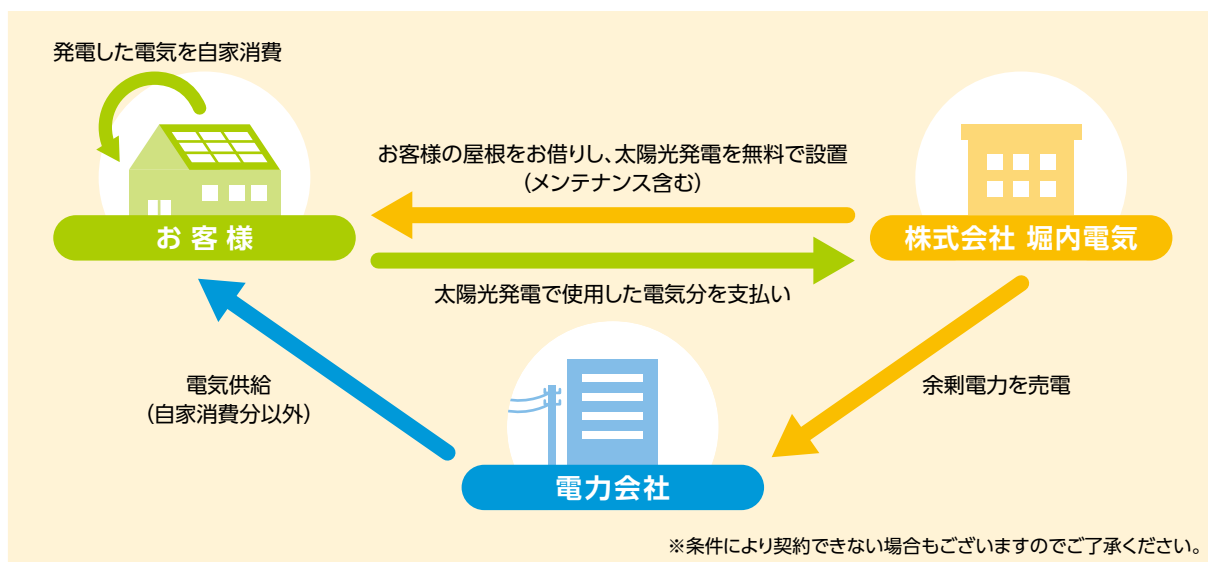
おり、ここまで発展することができています。

## モルディブ共和国での 支援活動から太陽光へ

会社を設立した1997年、私はインド洋に浮かぶ熱帯の国モルディブ共和国での太陽光関連技術支援活動に呼ばれて参加しました。この活動はさまざまな障壁があつて最終的には撤退することになったのですが、この経験が原動力となつて、現在の太陽光発電設備設置工事業に活かされています。今から11年前の2013年、社用車に電気自動車の日産リーフを導入し、その後も燃料電池自動車のトヨタMIRAI、電気自動車のテスラを社用車に導入いたしました。自社所有の太陽光発電設備も2013年に初めて長崎県西海市に設置し、今では計31か所の自社所有太陽光発電設備が稼働しています。

## 屋根貸して事業

当社では「屋根貸して事業」という取り組みをスタートさせています。お客様の建物の屋根をお借りして太陽光発電設備を無償で設置します。お客様は発電した電気を自家消費し、その分の



屋根貸して事業の概要



屋根貸して事業の工事風景

電気代を当社にお支払いいただきます。その際にできた余剰電力は当社が電力会社へ売電します。お客様にも当社にもメリットのある、オンサイトPPAと呼ばれる事業で、契約終了後はそのまま発電設備ごとお客様に譲渡します。お問い合わせもたくさんいただいております、これからの当社の売り上げの柱になってくれることを期待しています。

## へFFGへポジティブ・インパクト・ファイナンス 実行の第一号群として

当社は創業以来、さまざまなSDGsに関する取り組みを続けてまいりましたが、こうした取り組みを対外的にアピールすることによって、当社だけでなく業界全体に広げていきたいと考えていました。私は当社の社長というだけでなく、電気工事業

協同組合の要職を担っているものですから、太陽光発電設備の普及に努めています。そうしたタイミングでお取り引きのある福岡銀行春日原支店からへFFGへポジティブ・インパクト・ファイナンスの紹介を受けました。サステナブルスケールインデックスの受検、そして当社のサステナビリティ活動へのヒアリング、目標の設定、その目標に向かつての伴走支援を受けることになりました。

もともと当社ではエコアクション21を導入しており、電気の使用量や産業廃棄物の削減に取り組んでいました。ただそれはあくまでも環境面での課題解決であって、地域社会や社員たちに向けての取り組みを含めたものではありません。ダイバーシティの推進など業界平均をはるかに凌駕する取り組みを続けていますが、そうした取り組みをこうして評価書という形でまとめていただくことで、社外だけでなく社員に対してもアピールでき、まさに一石二鳥だったと思います。

今回利用したへFFGへポジティブ・インパクト・ファイナンスを使って、当社のサステナビリティ活動をさらに進化させ、環境にも、お取引先にも、地域社会にも、社員たちにも優しい会社を目指してまいります。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行第一号の証、記念楯を贈呈（右から堀内社長、豊田支店長）

## 株式会社 堀内電気

■本社所在地：〒812-0861 福岡市博多区浦田1丁目5番46号

■電話番号：092-513-3377

■グループ企業：株式会社eパワー、有限会社太宰府電工、株式会社アール、株式会社雄電社

■事業内容：電気設備設計施工、電気通信設備設計施工、太陽光発電システム設計施工



FFG公式YouTubeチャンネル  
では当社へインタビューして  
います。  
こちらをご覧ください。



FFGでは企業のSDGs／ESGの取り組みを支援しています

FFG公式  
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ  
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ  
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに  
関することは  
何でもご相談ください

# SDGs から見える 10年後の会社の未来

## 「中小企業・製造業におけるサステナブル経営」

中小企業・製造業におけるSDGsの取り組みとは？今回は、省エネ・省人・無人化への投資を続けると共に、人的資本(技能向上・働きやすい職場環境づくり)にも注力する株式会社フクネツの取り組みを紹介します。

シンワラボ 株式会社 代表取締役 加藤 シゲキ

### 第6回 株式会社 フクネツ

■代表取締役 ながしま せいいちろう 永島 誠一郎

■本社／福岡県糟屋郡篠栗町和田5丁目2番14号

■TEL 092-947-5652 ■URL <https://kkfukunetsu.co.jp>



#### 会社概要

株式会社フクネツ（以下、フクネツ）は、1969年7月に創業。金属熱処理、機械研削加工を主な事業として成長。現在では、金属製品として品質面でトップランクの土ミクロン単位の精密機械部品を製造する会社である。

当時、九州では本格的に金属の熱処理を行う会社が少なく、チャンスありと古賀町（現・古賀市）で創業。1979年、事業拡大に合わせ、糟屋郡篠栗町和田の鉄工団地へ移転。現会長・永島駿治氏（前社長）は社は「挑戦と和」を掲げ、常に新しい技術革新への地道な努力を続けた。創業から現在に至るまで、大きな二度の転機を乗り越え、フクネツは大きく飛躍する。

2010年、リーマンショックで大幅な売上減少に苦しむ中、取引先の大手精密機械部品メーカーからアクチュエーター部品（※1）の熱処理事業を受託。大型トレーラー20台分の機械設備ごと借入れる「大移管プロジェクト」であった。同時に5名の若手社員を関東の工場へ派遣し、短期間で操作技術を習得した。今も



代表取締役 永島 誠一郎

稼働する移管設備の導入から程なく、新規注文が一気に増加。深夜に及ぶフル操業が常態化し、売上は倍増した。

2017年、フクネツは二度目の大きな転機を迎える。先述の大手精密機械部品メーカーの製品移管に伴い、熱処理に加え、加工工程を全面的に引継ぐことに。この二度の転機からフクネツの主な加工製品は自動車関連部品から精密機械部品へと変遷。より高精度な

加工を要求され、新しい製造機器を導入、一層の加工技術の向上を追求し続けた。同時に生産力拡大に伴い、人材確保が急務となり、以前から着目していた外国人材の正社員採用もこの時期からスタートする。

翌2018年、創業50周年を迎え、現社長・永島誠一郎氏が三代目社長就任。着任早々、高付加価値製品の販売拡大へ向け、様々な取り組みを開始。社内組織の若返りを図り、生産

管理体制を強化。また中

小企業庁「経営力向上計画」の認定を受け、各種補助金や税制優遇を活用、財務体質の改善も図った。時代の変化を見据え、省エネ・省人・無人化設備への投資を行う等、「サステナブル経営」(※2)を強力に推進している。

(※1) 工作機械や半導体製造装置等を使用される精密機械部品

(※2) 環境・社会・経済の持続可能性に配慮することで、事業の持続可能性向上を図る経営



熱処理第一工場内 左.ピット型焼入炉／右.中性塩浴炉 創業から現在も稼働中のソルトバス(ひとつの炉で創業)



今林 寿敏(製造部部長)

## 省エネ・省人・ 無人化への取り組み



フクネツでは、「熱処理設備の無人監視システム」を20年前より導入。改良を重ね、現在は3台の自動熱処理設備が24時間体制で稼働中。結果、夜勤者数の軽減や生産量の拡大へ貢献。100%電力稼働でガス燃料ゼロ等、CO<sub>2</sub>削減・環境面でも大きな効果を発揮。

高額の設備投資だけに、段階的に旧型機械からの入替えを進め、一層の自動化による省人・無人化を推し進めている。

フクネツでは、熱処理をはじめ機械加工等、ほぼ全ての動力エネルギーが電力。ガス燃料による熱処理会社が多いなか「創業から多品種少量加工が多く、ガスを使用するより電気の方が安全だった」と永島社長は振り返る。現在の主力製品である精密機械部品の加工性能においても、電動機械に性能面でアドバンテージがある。

また加工工場内は、デマンドコントローラー(※3)による温度調節を行っている。温度による金属膨張を防ぎ、加工

精度を上げる目的で導入した装置だが「最近では、電気代コントロールで大いに威力を発揮している」と製造部の今林部長は、他工場への導入も検討している。

(※3)デマンド値(30分間に使用した電力の平均使用量)を監視しエアコン等の間引き運転を自動制御することで効率的に節電できる最先端システム

## ダイバーシティ、 働きやすい職場環境づくり



フクネツが外国人材の正社員雇用を始めたのは2017年。「日本語能力を重視し、技・人・国ビザ(※4)で働ける外国人を正社員採用しようと考えた」と永島社長。最初に、日本企業で勤務経験があるベトナム出身者2名を正社員として採用。現在、ベトナム人社員10名、1期生がリーダー役として活躍中。「国籍に関係なく社員として能力を評価。管理職への登用を検討している」と永島社長はその成長に手応えを感じている。

事務だけでなく、工場で働く女性社員も増え、子育て中の社員の要望に応え、就業規則を改訂。「二時間単位の有給休暇」が取得可能となった。「男性社員の育児休暇の取得率は100%。会社が目指す省エネ・省人・無人化によるメリットを社員に実感してほしい」と人事総務を担当する花田総務部長。

フクネツでは、未経験者でも技能を取得できるよう研修体制を整備している。毎週、知識



機械課 ヴ・ホアン・リン(2017年入社)

勉強会(座学)を開催。会社推奨資格については、外部研修や資格取得の費用を会社が実質的に負担する。資格取得後は、技能手当による昇給もあり、技能向上を人事制度面でも後押ししている。

また職場の労働安全衛生においては、二つの活動を柱に推進を行っている。健康経営(※5)と「5S活動」である。健康経営は、各職場の代表者が安全衛生委員会委員と兼務で推進を担う。協会けんぽや外部専門家も活用し、健康課題を改善する。経済産業省「健康経営優良法人」認定を4年連続で取得。その活動



機械課 レ・ドック・ニャット(2018年入社)

内容を会社HPにて公表している。「5S活動」(※6)については、自社だけでなく、福岡県内の製造業7社と協力して推進。毎年、メンバー企業による相互点検を行う。「他社による点検は、非常に緊張感があり、日々の労働安全への意識を維持するのに大変役立っている」と永島社長。「他企業と相互研鑽する5S活動」は、フクネツの企業文化の一つと言える。

(※4)技術・人文知識・国際業務ビザ。企業や団体と契約し、事務職やエンジニアなどの専門的・技術的な素養を必要とする

(※5)健康経営とは、従業員の健康増進へ投資を行い、



機械課 古賀 千葉里(2022年入社)



機械課 江藤 静香(2021年入社)

労働生産性の向上や採用・定着の促進、社員エンゲージメント向上を図るための施策

(※6)5S活動とは「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」のローマ字表記の頭文字。現場の環境維持や業務効率を上げる、5つの要素への取組活動



2024年度 安全衛生委員会(健康経営推進委員会)メンバー

【前列左から】須田 陽孝(機械課)／西山 正和(機械課技師)／常務取締役 横手 健／代表取締役 永島 誠一郎／取締役・総務部長 花田 茂／渡邊 志津佳(総務部) 【後列左から】原 智洋(熱処理課)／岩崎 雅浩(機械課)／菊池 佳治(機械課課長)／有川 聖行(熱処理課課長)／取締役 長 真美



2023年11月18日 社員旅行(宗像大社)



労災防止教育・足腰強化トレーニング

## ■ 取材ノート

### シンワラボ 株式会社 代表取締役 加藤 シゲキ

経済産業省 九州経済産業局 SDGsパートナー機関  
<https://shinwalab.jp> mail:s.kato@shinwalab.jp



2050年カーボンニュートラル(温暖化ガスの実質排出ゼロ)達成へ向け、グリーン転換促進法(GX)推進法が昨年成立。2026年からCO<sub>2</sub>多排出企業への削減目標設定や達成に強制力を課す方向での制度改正が先日発表された。いよいよ中小企業も炭素税や排出量取引といった炭素価格(カーボンプライシング)を意識せざるを得ない状況となる。

今回取材のフクネツは、リーマンショックをはじめ“ピンチをチャンスへ”転換し、成長を果たしてきた企業。金属熱処理はCO<sub>2</sub>多排出事業。経営環境が厳しくなるなか、永島社長は省エネ・省人・無人化への投資を続け、更なる成長戦略を描いている。同時に、人的資本(技能向上・働きやすさ)への投資を進めている。工場で多様な人材がいきいきと元気に活躍する姿が強く印象に残っている。



熱処理第二工場 「無人監視システム付パッチ型光輝多目的熱処理炉」前にて取材

環境にやさしく、

安心な

未来のために

株式会社球磨村森電力  
代表取締役・球磨村復興推進アドバイザー

中嶋 崇史 氏

Takafumi Nakajima



熊本県南部に甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」。その被災地の一つである球磨村は復興を目的とした「『脱炭素×創造的復興』によるゼロカーボンビレッジ創出事業」に取り組み、2022年には環境省の「脱炭素先行地域」に選定されました。

この事業を推進してきた「株式会社球磨村森電力」代表取締役であり、球磨村復興推進アドバイザーの中嶋崇史氏に、球磨村での取り組みの経緯や今後の展開について、お話を伺いました。

脱炭素と創造的復興を目指して―

球磨村における取り組みから見えてきた

地域共創によるカーボンニュートラル社会の実現。

現地に足を運び

地域の課題を掘り起こす

球磨村との出会いは2012年にさかのぼります。当時、私は早稲田大学院環境・エネルギー研究科で博士(工学)の学位の取得を目指すと同時に、同大学研究室のベンチャー企業・株式会社早稲田環境研究所の代表取締役を務めるなど、エネルギー・リサイクル分野のビジネスプロデュースを手がけていました。

そのような中で球磨村に伺った際に、球磨村森林組合の方から森林を活用した木質バイオマス(再生可能な生物由来の有機性資源)についてのヒアリングを行いました。ところがやりとりをしている中で、森林組合の方がふと「木は燃料として燃やすために育てているん

じゃない…」と、言われたんです。森林というのはエネルギー源になり得ると信じていた私にとつては、その言葉が強く心に引っかかりました。

それから毎月1回、東京から球磨村森林組合に足を運ぶようになりました。何かを依頼されているわけではないので、費用は全て自費です。その中で実際に森に入らせていただき、伐採の現場を見て、皆さんと交流を深めていくと、さまざまな林業の課題が見えてきました。

木材の価値を高めるために  
木質バイオマス燃料の導入へ

過疎化が進み、超高齢社会である球磨村では、木を切る作業員はもちろん、何か新しい

ことを始めようとしても、取り組める人材が不足していることで、多くのことが停滞していました。

また、木材市場環境の変化もありました。市場ではグリーン材(未乾燥材)から乾燥材の需要が伸びてきており、出荷までに乾燥工程を加えることが当たり前になっていました。球磨村森林組合としても乾燥設備の導入を検討しようとなつたのですが、そうなると乾燥のための燃料が必要です。

「それなら重油よりも、地域にある森林の木材を原料とする木質バイオマス燃料が良いのでは?」と、最初の話に戻ることになったのです。まずは2013年に、私も協力して環境省の補助金を獲得しました。そして、本格的な導入検討を開始し、2016年にバイオマス設備の導入に至りました。

その間に、人材育成や観光などの課題に対する取り組みも進めました。環境省から人材育成に関する補助金を獲得し、環境学習に着手し、観光面では球磨村にある鍾乳洞「球泉洞」きゅうせんどうの照明をLED化するためのコンテストを開催するなど、多方面で取り組みを展開しました。

このような取り組みの中で、行政機関とのつながりも深まり、球磨村の温暖化対策を策定する業務を引き受けるようになりました。

## 持続的な事業展開のために 球磨村に電力会社を設立

ここまで、順調に環境省から補助金を獲得してきましたが、人材育成や環境学習は1年で終わるものではありません。補助金がなくても継続して事業を進めるために、どうしても悩んでいました。

そこで設立したのが「株式会社球磨村森電力（以下、球磨電）」です。設立は2018年2月。球磨村は豊かな森林と、球磨川や球泉洞などの魅力的な観光資源があるものの、人口減少による地域経済の縮小という大きな課題を抱えていました。球磨電は、球磨村との連携協定に基づき、収益を地域の問題解決に再投資し、球磨村の魅力を維持・発展・創造する役割を担うことを目的としています。実際には、村内の施設や一般家庭の屋根に太陽光発電を取り付け、そこから電力を供給していく

仕組みをつくり上げました。

## 豪雨被害で全てがゼロに 復興への熱意で

### 「脱炭素先行地域」に選定

しかし、ここで起きたのが球磨村をはじめ、熊本県南部に甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」です。役場の全施設、森林組合、村内の大型施設への電力供給が進み、ようやく事業として軌道に乗り始めていた頃でした。想定外の大きな災害が起き、全てが振り出しに戻ってしまったのです。

そんな時に原動力となったのが、球磨村の皆さんの災害から立ち上がるとうとする熱意でした。それなら自分として何ができるのかと、もう一度ゼロベースで考えることにしました。

災害から立ち上がるためには、環境問題にも配慮した復興計画が必要となってきます。そこで私たちは、災害公営住宅が整備されるエリアなども含めた住宅や村有施設、民間施設において自家消費型太陽光・蓄電池をできる限り導入するとともに、荒廃農地や林地などを



活用した太陽光発電による電力などを供給することにより脱炭素化を図ることなどをまとめた「『脱炭素×創造的復興』によるゼロカーボンビレッジ創出事業」を、球磨村、球磨村森林組合、そして球磨電の3社で共同提案しました。

その結果、2022年6月に、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた優れたモデル地域であることを示す環境省「脱炭素先行地域（第1回）」に認定され、この事業を継続的かつ包括的に支援するための交付金を獲得することができました。



## 地域の課題に取り組むことが アプローチの第一歩

この「脱炭素先行地域」に選ばれる条件には、実現性はもちろんのこと、横展開性、つまり他の地域への波及効果も期待されています。実は、すでに災害前から熊本県あさぎり町や五木村とも事業を展開。2023年にあさぎり町では「株式会社あさぎりエナジー」を設立し、こちらも環境省「脱炭素先行地域（第3回）」に選ばれています。同年、五木村でも「株式会社五木源電力」を設立しました。

また、全国の地域から高い関心をいただいております。愛媛県松山市や沖縄県などでもすでに事業が進行中です。

最近では、多くの企業から講演やインタビュー依頼も増えています。その際に、「地域にどのようにアプローチしたのか」という質問をよくいただきます。重要なことは、電力事業をやるうとか、補助金をもらおうとしてスタートしたわけではないということです。地域における事業において大切なのは、その地域の課題にいかに関心を傾け、地域住民が熱量を持って動き

始めるという共創的なプロセスを経ることが、何よりも重要であると考えています。

おかげさまで、この「『脱炭素×創造的復興』によるゼロカーボンビレッジ創出事業」は、太陽光発電協会の「ソーラーウィーク2023」においても大賞を受賞しました。これだけ注目をいただいている理由は、決して電力事業だけの評価ではないと思っています。

私たちのアプローチは、あくまで地域全体です。まずは地域に足を運び、その地域のために何ができるのか、そして私が何を協力できるのか、熱意をいかに事業へと結びつけていくのか。そのプロセスを支援していくことが、私たちの役割だと感じています。

### 株式会社 球磨村森電力

■本社所在地：〒869-6405  
熊本県球磨郡球磨村  
大瀬1121  
球泉洞森の香房2F

■電話番号：0120-748-166

■事業拠点：本社  
八代オフィス  
福岡オフィス  
東京オフィス





# GOLF MEGA STAR

ゴルフ界で輝く新星を紹介するコーナーです

vol.8

虎視眈々と  
賞金王を狙う。

## Z世代のプロゴルファー 名前は海外選手に由来

まるで、格闘家のような鋭い眼をしている——。インタビュで対座したときにそう思った。まだ20歳前後の若者、いわゆるZ世代だが、いい意味でギリギリした勝負師のような凄みがある。

今回紹介するのは、福岡県出身で新進気鋭の若手プロゴルファー長野<sup>ながの</sup>泰雅<sup>たいが</sup>選手。彼を語る上で欠かせないのが名前の由来だ。父親の清一<sup>せいいち</sup>さんはジャンボ尾崎<sup>おさき</sup>さんが率いる「ジャンボ軍団」の大ファンで、息子が生まれたら尾崎将司<sup>まさし</sup>と末弟・直道<sup>なおみち</sup>から1文字ずつ取って「将直<sup>まさなわ</sup>」にしたかったそうだが、母親の珠美<sup>たまみ</sup>さんから「昭和すぎ」と却下。最終的に当時全盛期だった



小学6年時、「KABジュニアゴルフ選手権」で優勝



お父さんの清一さんとナイスショット

タイガー・ウッズにあやかつて「泰雅<sup>たいが</sup>」と名付けられた。清一さん曰く、「泰雅が海外の試合に出たときにTIGERと呼ばれるのを聞いて、海外でも通じる名前を付けて良かったと思いました」。まさに令和時代にぴったりのグローバルネームだ。



高校3年時、「九州ジュニアゴルフ選手権競技」で優勝

## プロゴルファー

# 長野 泰雅

## NAGANO TAIGA Profile

2003年5月6日生まれの21歳。株式会社 福岡地行所属。身長170センチ。A型。福岡県篠栗町出身。九州シニア優勝歴のある父親・清一さんの影響で9歳からゴルフを始める。中・高はゴルフの名門・沖学園に進学。高校1年時、国体で団体・個人の2冠を達成。高校3年時にプロ転向。初シード入りした昨シーズンは優勝争いも経験し、自己最高の2位に入った。国内男子プロゴルフツアー2024年度シーズンでの活躍が期待される。

Instagram





ゴルフをする上で大切にしているのは「挨拶」。ゴルフ場で働く人や大会運営者、選手たちには率先して挨拶をすると言う

## 両親はシングルフレイヤー 家族でゴルフを楽しむ環境

長野選手の父親・清一さんは、九州シニアで優勝、母親・珠美さんは「ザ・クラシックゴルフ倶楽部」(福岡県宮若市)のクラブチャンピオンレディス部門3年連続1位に輝いた経験を持つ。両親ともにシングルフレイヤーという環境で育った長野選手

は、9歳の頃から家族でゴルフ練習場に通っていた。清一さんの指導のもと、どんどん上達し、小学6年生の時には「KABジュニアゴルフ選手権」で優勝を果たす。

中学からゴルフの名門・沖学園へ進学。その頃は福岡市東区照葉に住んでいたが、博多区竹下にある学校までの交通の便が悪く、毎朝4時半に起きて始発のバスと電車を乗り継いで朝練に通っていたと言う。「中高あわせて6年間、寝坊したから車で送ってとか、親を頼ったことは一度もありませんでした」と清一さん談。

高校1年時、国体の団体・個人で全国制覇。高校2年時はコロナ禍で試合の中止が相次いだ。高校3年時は不振続きで苦しんだ年だった。QTに挑戦するも、ファイナルには進めなかったが、サードまでいったのでプロ転向した。

「両親は大学に行ってほしかったようでしたが、プロとして戦ってみたいという気持ちが勝りました」

高校卒業直後、プロとして挑んだ「東急大分オープンゴルフ」でいきなり優勝。ツアーでは6月に「ASO飯

塚チャレンジ」で優勝争いを繰り広げ、6位タイに食い込んだ。続く8月の「Sansan KBCオーガスタゴルフーナメント」では2日目に初めての首位も経験、9月は初挑戦したプロテストでトップ合格を果たす。「日本オープン」3位タイに入りシード権を獲得した。

## 昨年度は優勝争いも経験 今年こそツアー初優勝！

初シード権で迎えた昨シーズンについて長野選手は「最終組でトップ選手と一緒にコースを回ることも多く、戦略的なコースの組み立て方を間近で学ぶことができました。初めてのコースばかりでしたが、成長を感じられた一年だったと思います」と振り返る。

中でも「ジャパンプレーヤーズチャンピオンシップ b ソサトゥウ食品」では、最後1mのバーディパットを外し谷原秀人選手とプレーオフに突入し、敗退。あともう1歩のところまで優勝を逃したので、さぞや悔しかったのでは。「結果は引きずらないタイプ

なので、落ち込んだりすることはありませんね。いい勉強になった、今度やり返すぞってポジティブに考えます」一年を通してツアーに出ていると、調子の悪い時もある。

「どんなに調子が悪くても練習は欠かさずしています。調子の良し悪しはアイアンショットの音で分かります。良いときは良い音がします」

調子の悪い時の脱し方はあるのだろうか。「メモをつけるクセをつけています。自己流ですが、ラインアプリーでアイアンとドライバー、パター、それぞれ一人グループを作って、練習時に気付いたことは全部書くんです。感覚に頼らず、頭で理解する。調子が悪いとき、こうしたら良くなったとか、足の幅など数ミリ単位で調整をしています。最終的には自分のベストスウィングがわかります」

今シーズンの目標を問うと、「優勝すること。それから賞金ランキングでトップテンに入りたいです！」と力強い声で答えてくれた。

ツアー初Vに向け、猛虎が牙をむく。

(2024年4月取材)

# 長野 泰雅プロのトリセツ

Q.ドライバー平均飛距離は？ 290ヤード

Q.ベストスコアは？ 60(西那須野カントリー倶楽部)

Q.得意なクラブは？ 全部得意です

Q.尊敬している人は？ 高校時代からお世話になっている小田孔明さん。スティックに結果を出している中島啓太さんも尊敬しています

Q.ゲーム好きとのことです、お気に入りのゲームは？  
スイッチで「大乱闘スマッシュブラザーズ」をやっています。  
野球ゲームもよくします

Q.好きな映画は？ 「名探偵コナン」

Q.好きな食べ物は？ ご当地ラーメンを食べるのが好きです

Q.嫌いな食べ物は？ きのこと海藻類

Q.実家に帰ると食べたくなる料理は？ カレー

Q.長所、短所は？ 長所はポジティブ、短所は短気

Q.自分を動物に例えると？ ライオン

Q.休日の過ごし方は？ 休日もラウンドに行きたい  
くらいゴルフが好きです

Q.無人島に3つだけ持っていくとしたら？  
建築家3人。家を建てたいです

Q.タイムトラベルできるとしたら、過去・未来どこにいて何を観たい？ 過去や未来に興味がありませんが、違う世界でゴルフに出会っていない自分がいたら、どんな人生を送っているのか観てみたいです

Q.いつも欠かさず持ち歩いているモノは？  
香水。集めて瓶を飾っておくのも好きです

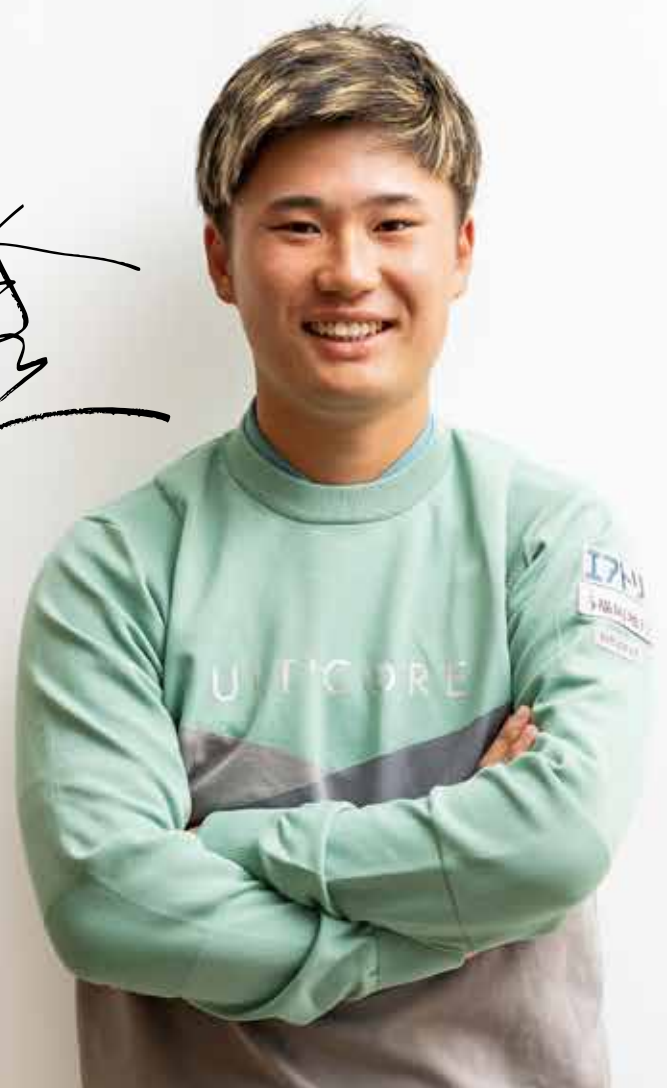
Q.もらって嬉しいものは？ お金

Q.嬉しい声援は？ 「キャー」とか黄色い声援を浴びてみたいです(笑)

Q.ストレス解消法は？ 友人とビリヤード

Q.好きな言葉は？

貪欲



## 2024年度 国内男子ツアー(九州開催分)

### ●8月22日(木)～25日(日)

「Sansan KBCオーガスタゴルフトーナメント」  
芥屋ゴルフ倶楽部(福岡県糸島市)

### ●11月14日(木)～17日(日)

「ダンロップフェニックストーナメント」  
フェニックスカントリークラブ(宮崎市)

撮影協力 福岡カンツリー倶楽部 和白コース

■住所: 福岡市東区大字  
上和白1318-1  
■電話: 092-606-2931





海外駐在員事務所が伝える

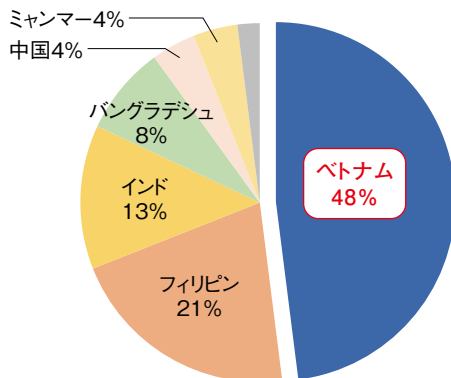
# グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。  
今回、ホーチミン駐在員事務所の吉永所長に現地の情報やビジネスについて伺いました。

## Question 1

現地の状況について  
教えてください

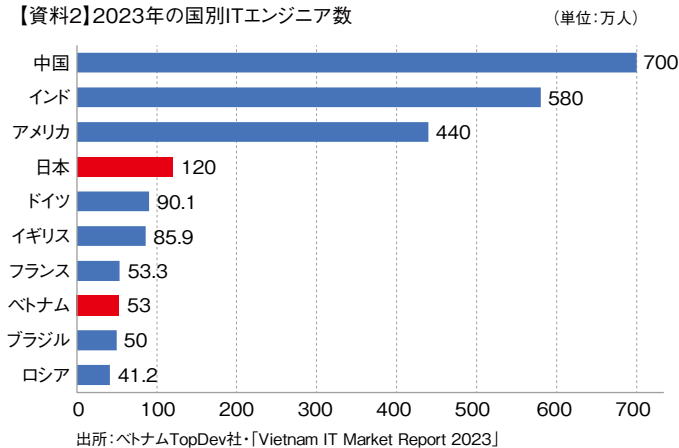
【資料1】オフショア開発委託検討先 国別割合 (2023年)



出所：株式会社テクノデジタル・「オフショア開発白書 (2023年)」

A 日本では、2030年に約59万人のITエンジニアが不足するという試算を経済産業省が公表しています。そのような中、2023年のオフショア開発白書における日本企業のオフショア開発の委託検討先国に関するアンケートでは、ベトナムが全体の

【資料2】2023年の国別ITエンジニア数 (単位：万人)



出所：ベトナムTopDev社・「Vietnam IT Market Report 2023」

48%と高い割合を占めており、ベトナムIT企業を委託先としたオフショア開発への関心の高さが伺えます【資料1】。  
ベトナムでは、2023年時点で約53万人のITエンジニアが業務に従事しており、ITエンジニア数は世界第8位です【資料2】。加えて、1998年に成立した教育法により小学校3年生からコンピューター教育を導入し、2018

## Question 2

現地企業の声を聞かせて下さい

A ベトナムで特に優れたIT企業を表彰する「ベトナムトップ10 IT企業(2022年度)」に選定された、「BRCKEISOFT CORPORATION」のホーチミン支社長Tonan氏にお話を伺いました。

現地企業の声

当社は、1,800名以上のITエンジニアを抱え、現在ベトナムのオフショア開発を行う企業の中では5本の指に入る事業規模を誇っており、主に日本からのオフショア開発の受託を

年からは更に高度なプログラミング教育を開始する等、国策としてITエンジニアの育成に力を入れていることから、足下では年間約6万人のIT専門教育を受けた人材が労働市場に供給されており、今後増加することが予想されています。

行っています。社員の約40%が日本語でコミュニケーションを図ることができ、日本企業とのやり取りは日本語で対応可能な体制を構築しています。当社は、金融、医療、小売や物流など様々な業種で1,000を超える開発実績があり、中小企業から大企業まで幅広いお客さまからオファ開発を受託しています。以前はプロジェクトの一部の受託が大半でしたが、最近では、プロジェクト全体の企画から実装までワンストップで受託するケースも増えています。

当社のITエンジニアの平均年齢は28歳と若く、突発的な案件や新しい技術の習得にも前向きに取り組んでくれます。また、当社ではグループ内にアカデミー（技術者育成学校）を開校し、自社にてITエンジニアを育成することで、優秀なITエンジニアを安定的に確保し、お客さまへのサービス向上に努めています【資料3】。

### Question 3

#### 駐在員事務所の活動事例を紹介して下さい

**A** ホーチミン駐在員事務所では、RIKKEISOFT CORPORATION様のような現地ネットワーク先とのマッチングのほか、お客さまのベトナム視察や視察前のWeb

【資料3】 RIKKEISOFTホーチミン支社 オフィス



RIKKEI Academy 左から4番目がToan支社長



### Question 4

面談のサポートも行っています。実際に、ベトナムでのオフショア開発を希望するお客さまに対し、現地IT企業の視察をアテンドしたケースもあります。

**海外ビジネスを目指すお客さまへメッセージをお願いします**

**A** ベトナムでは、日本語でのコミュニケーションが可能なIT企業も多く、ITエンジニアが不足する日本企業においては、ベトナムでのオフショア開発は有効な解決手段の一つであると思います。但し、優秀なITエンジニアは引き合いも多く、プロジェクトの途中で担当者が変わってしまう可能性もあるといった点には留意が必要です。

ベトナムでのオフショア開発についてのご質問やIT企業のご紹介などのご要望がございましたら、お気軽にお取引店にご相談ください。

Take a Break



所長の  
ちょっとひと息

現地のおすすめや  
過ごし方を  
ご紹介下さい

ホーチミンにも福岡市と同じようなオープントップバス1時間程度でホーチミンの主要な観光地をバスの2階から楽しむことができます。日中は暑いので、夕方から夜がおすすめです。ホーチミンのライトアップされた夜景はとても美しく、バイクが所狭しと行き交う街の熱気を、涼しい風に吹かれながら体感することができます。

【資料4】オープントップバス



# 地域とつながる FFG連携プロジェクト

長崎県

熊本県



私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、「熊本市と連携した販路拡大支援の取組み」、「熊本県が主催した『くまもと産業復興エキスポ』への熊本銀行（FFG）のブース出展の取組み」、「長崎発の未来を担う起業家を発掘する革新と挑戦の祭典“ミライ企業Nagasaki推進事業2024”」について紹介します。

## 「くまもとの物産商談会2024」によるお取引先企業の販路拡大支援

熊本県は、台湾の半導体受託製造大手TSMCの進出を機に、半導体関連企業の集積や空港周辺のインフラ整備などの設備投資が行われ、人流の増加と観光需要の回復などから、域内消費額の増加が期待されています。このような景気基調の中、熊本市は、地場産品の知名度向上及び商品PRの機会を創出し、地域を超えた販路拡大を図ることを目的とした「くまもとの物産商談会2024（以下、本商談会）」を2024年2月27日（火）に熊本城ホールで開催しました。熊本銀行は、本商談会の運営事務局であるFFGビジネスコンサルティングと共同で運営を実施。今回で3回目の開催となる本商談会では、商談会後の成約率の向上など、これまでの商談会での課題をもとに、バイヤーとの向き合い方や交渉方法等のノウハウが学べるセミナーを商談会前後で行うなど、過去の実績を踏まえた企画を行いました。

本商談会は、銀行のお取引先企業をはじめ、圏域内の加工食品事業者・工芸品製造業者が取り扱う地域産品の知名度向上や販路拡大・売上増加が見込めることから、熊本銀行では、対象となる事業者に対して出展の募集を実施。FFGのネットワークを活用し、熊本市内のお取引先企業に幅広くアプローチすることはもちろん、各自自治体や商工会議所と連携した周知・ご案内を行った結果、過去最

多となる81社の事業者にご参加いただきました。

募集チラシ

さらに、台湾をはじめとした海外への販路拡大展開に関心を寄せている事業者向けにFFG海外拠点との個別相談会や、新たなチャレンジとして商品開発・ブラッシュアップを検討している事業者向けに株式会社生産者直売のれん会によるブランドの作り方・育て方に関する個別相談会も同時開催。FFG海外拠点との個別相談会では、現地の情報収集や具体的な商談につながり、「現地の現状が聞けて可能性を感じた。海外への展開も取組んでいきたい」などのお声をいただくなど、お取引先の海外販路拡大に寄与する取組みとなりました。

今後も熊本銀行およびFFGは、県内の事業者の課題を一緒に解決する「事業パートナー」としてゴールベース型の本業支援に積極的に取組んでまいります。



開会式の様子



展示コーナー

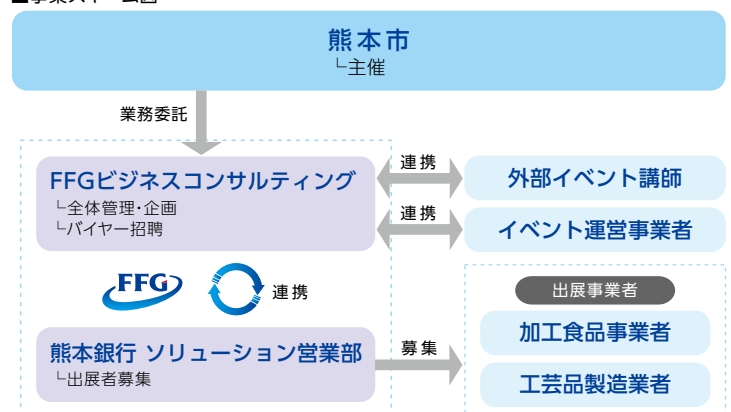


事前セミナーの様子



熊本銀行 ソリューション営業部 左から土田、西田、金森  
【お問い合わせ】 096-385-1280

#### ■事業スキーム図



## 災害からの創造的復興 新生シリコンアイランド九州の実現を目指す 「くまもと産業復興エキスポ」への出展

2024年2月28日(水)、29日(木)にグランメッセ熊本で、熊本県主催による「くまもと産業復興エキスポ」が開催されました。熊本県では、熊本地震や県南豪雨災害などの大規模な自然災害に見舞われ、道路、電気、通信設備等のインフラ施設はもちろん、商工業、観光業、農林水産業などにも甚大な被害が生じましたが、その後、創造的復興を実現し、徐々に活気を取り戻してきました。更に半導体関連産業の集積に向けた企業進出等により活気づく「熊本県の今」を県内外に向けて発信することを目的として、本イベントが開催されました。熊本銀行も「くまもと産業復興エキスポ検討委員会」の一員として、県をはじめとしたさまざまな関係者と協議を重ねて、イベントの立ち上げから実行まで関与しました。

半導体・ものづくり、台湾との絆、おいしい熊本、災害からの復興などを大きなテーマとして、JAS Mやソーセミコンダクタマニユファクチャリング株式会社などをはじめ、熊本県内の

製造業企業や半導体企業、自治体、そして台湾企業のブースや、地域産品の販売ブースなど、多数のブースが出展。来場者は2日間で10,800人へのぼり、一般の来場者はもちろん、県内の高校生、県内外の企業関係者や、自治体職員など、幅広い層が来場しました。

熊本銀行はDXについての取組みをテーマとし、「個人バンキングアプリ」、「法人向けポータルBIZSHIP」、「iBankマーケティングが運営する「地域共創型オンラインストアエンイチ」を紹介するブースを出展。ブースにおいて、県内外の企業関係者ととどまらず、多くの高校生や大学生にも来場いただき、銀行が注力するDXの新しい取り組みについて知っていただく機会になりました。

また、FFGインダストリーズ(※)もブースを出展しました。金属加工製品等を中心とした総合商社として、製造業者の発注・受注をつなぐ事業を紹介。イベントでは半導体企業、金属加工業者を中心に面談することができたほか、これから九州への進出を検討されている企業とも接点を持つことができました。

イベント後も複数の企業から実際に案件をいただき、現在商談を進めております。今後は、さらにお客様の生産性向上に貢献するため、「受発注」だけでなく、「設備自動化ソリューション」などの提供



多くの高校生がブースへ来場



熊本銀行出展ブース



メニューを増やしていく予定です。



FFGインダストリーズ出展ブース



多くの人で賑わうブース

同時開催のセミナーイベントでは、熊本銀行が福岡銀行台北駐在員事務所所長を招き、「台湾の今」というテーマで台湾文化やビジネス環境などに関する講演を行いました。会場は満員となり盛況に終わりました。

今後も熊本銀行およびFFGは、お取引先の事業業績に貢献する取組み（本業支援）や、熊本県をはじめとした地域の課題解決・活性化に繋がる取組みを行ってまいります。

※FFGインダストリーズ：FFGインダストリーズ株式会社。金属加工製品の総合商社機能をもつ、ふくおかフィナンシャルグループ100%出資の子会社。



満員となったセミナー会場



熊本銀行 ソリューション営業部 左から土田、西田、金森  
【お問い合わせ】 096-385-1280



セミナーの様子



セミナーの様子



## 「ミライ企業Nagasaki推進事業2024」盛会裏に終了！

「ミライ企業Nagasaki推進事業」は長崎県の大石知事と十八親和銀行の山川頭取の「一緒に新たなビジネス創出支援を目指した取り組みをしたい」という掛け声のもと、長崎の経済活性化と新たな価値創造を推進することを目的に昨年からスタートしました。

この事業は、資金調達を目指す長崎のスタートアップ企業と投資家をマッチングする「スタートアップ部門」と十八親和銀行が主催する長崎学生ビジネスプランコンテストをはじめとした長崎で開催される5つのビジネスプランコンテストのチャンピオンと一般公募で選ばれた起業家がピッチコンテストで競う「チャレンジ部門」の二部構成で実施されました。本事業は十八親和銀行が受託し、イベントの企画運営はもちろん、「スタートアップ部門」および「チャレンジ部門」の参加者に対する事業化やプレゼンのメンタリングなどの個別支援を行うことで、各ビジネスモデルのブラッシュアップにも寄与しました。

「スタートアップ部門」には、5組の企業が登壇。漁業者支援サービスを展開するオーシャンソリューションズテクノロジー株式会社や、食品残渣を活用した水産飼料原料としての昆虫由来動物性プロテインの製造・販売に取り組む株式会社Boonなどが登壇し、多くの投資家から注目を集めました。「チャレンジ部門」には、起業して間もない企業や起業家ら8組のチームがエントリー。AIによる水道管漏水診断システムを開発するwaveology株式会社が最優秀賞に輝き賞金300万円を獲得。当社の代表取締役で東京工業大学の大学院生でもある道上峻介氏は佐世保工業高等学校出身で、過去の長崎学生ビジネスプランコンテストでの受賞経験もあります。また、優秀賞には温泉の沈殿物「湯の花」で作る忌避剤「鳥獣コンコン」を使い農家のイノシシ被害防止を提案した島原翔南高校の「湯の花チーム」が選ばれ、賞金100万円を獲得しました。

基調講演には、昨年、スタートアップ部門に参加した Liaison Design 株式会社の川副巧成氏が登壇。起業から介護従事者支援システム「iTherapy」開発に加え今後の展開について語りました。本事業の取組みは、長崎県内の新たなビジネス創出による経済活性化と新たな価値創造に向けた機運醸成につながりました。

今後も十八親和銀行では、ミライ企業Nagasaki推進事業を含め、スタートアップやオープンイノベーションによる新規事業創出にかける事業を通して、長崎の未来を担う起業家たちを繋ぎ、革新と挑戦の精神を育む架け橋となるよう努力してまいります。



最優秀賞 waveology株式会社



集合写真



当日の様子



山川頭取(十八親和銀行)



チャレンジ部門のプレゼンの様子



川副巧成氏による基調講演



大石長崎県知事

## FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の  
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ  
営業統括部 地方創生推進グループ  
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254



十八親和銀行 地域振興部 左から山下・浜里  
【お問い合わせ】095-828-8150

# 熊本市の農水産物・食品の海外輸出促進支援事業の実施

熊本銀行は、熊本市が公募した「農水産物等の海外販路拡大支援事業」にFFGビジネスコンサルティング、福岡銀行と共同で応募し、受託しました。事業期間(2023年6月～2024年3月)の取り組みとして、熊本県内事業者の海外販路拡大を支援する各種イベントや海外バイヤーとの商談サポートを実施しましたのでご紹介します。

## ① 海外販路拡大サポートセミナー

熊本県内事業者が輸出を検討する際に抱く不安を解消し、海外の現地ニーズを把握するこ

熊本市は、消費者所得が向上し日本食人気上昇している海外市場への熊本県内事業者の販路開拓支援、人材育成等の関連する支援を包括的かつ効率的に実施するため、2023年度から「くまもと輸出促進ネットワーク」を設立し運営しています。

熊本銀行は「くまもと輸出促進ネットワーク」の運営および同ネットワークに参加した事業者に対して、①海外販路拡大サポートセミナー、②福岡銀行海外駐在員事務所との個別相談会、③台湾進出テスト展示事業、以上3つのイベントを実施し、海外販路拡大を後押ししました。



セミナーの様子



個別相談会の様子

とを目的としたオンラインセミナーを計4回実施しました。

セミナーは2部構成で、前半は新規輸出に関連する物流・ブランドینگなどのサポートを得意とするノウハウを持った企業が、実務面で中小企業が直面する課題やその解決方法についての講義を行いました。後半は福岡銀行のアジア7拠点の海外駐在員事務所から、食品に関する現地ニーズや現地をよく売れている日本商品の紹介を行いました。

セミナー参加者からは「海外

## ② 福岡銀行海外駐在員事務所との個別相談会

販路拡大の成功には、商品を出すだけでなく、ブランディングが必要だと感じた「現地でどのような商品が求められているかよく分かった」といった感想が聞かれました。

福岡銀行海外駐在員事務所による対面での海外販路拡大に向けた個別相談会を熊本銀行本店ホールで実施しました。

福岡銀行大連駐在員事務所、台北駐在員事務所、シンガポール駐在員事務所の所長が、来場企業6社に対して、各駐在員事務所と繋がりががあるバイヤーの紹介や現地における商品の販売手法、販売価格、現地の人々の嗜好などの説明を行いました。

参加企業からは現地の食文化や好まれる内容量、味の好みなどの質問を多くいただき、具体的なニーズに対応する相談会となりました。



Craft Tokyoでの展示の様子

この相談会をきっかけに現地バイヤーとのコンタクトに成功し、新規輸出に繋がった企業から「福岡銀行の海外駐在員事務所が取り次いでくれたことでスムーズに輸出ができた」という感想をいただくなど、満足度の高いものとなりました。

### ③ 台湾進出テスト 展示事業

台北市の繁華街である中山

エリアに位置する「Craft Tokyo」にて、熊本県内事業者5社の商品を1か月半展示し、テストマーケティングや商品プロモーションを実施しました。

「Craft Tokyo」は台湾にて海外販路拡大に関するコンサルティングサービスを提供する「株式会社Craft Tokyo」が運営する店舗です。展示期間中に来店した台湾の方々へアンケートを行い、展示終了後には参加事業者へアンケートのフィードバックが行われました。

参加事業者からは「現地の人々の嗜好を知ることができた」「台湾向けの商品開発に活用したい」という感想をいただき、有効なテストマーケティングの機会となりました。

今回は、自治体の公募事業を活用した地元企業の海外販路拡大支援事業の事例をご紹介します。熊本銀行はFFGのネット

ワークを活かし、海外販路拡大や海外進出を検討されているお客さまに対して各種サポートを実施しています。お近くの営業店にお気軽にお声掛けください。



海外販路拡大支援事業のチラシ

自分にとってヨーヨーは体の一部であり、  
人生になくってはならないものです。

九州の星

Star of Kyushu

| 89 |

頑張るあなたを  
応援するコーナーです

競技大会は黒い背景が多いことから、目立たせるために金髪にすることも。国内ヨーヨーブランド、海外ヨーヨー専用メーカーとスポンサー契約を結んでいる

クラウド ネイティブ プレゼンツ・  
WORLD YO-YO CONTEST 2023  
1A部門※ 準優勝

## 中村 隆一

NAKAMURA RYUICHI

Age 21

愛知県名古屋市出身  
九州大学 理学部 化学科  
3年生



※1A部門……1個のヨーヨーとストリングと呼ばれるヒモを操る部門。競技ヨーヨーの中で最も競技人口が多い部門で、難易度・スピード・スタイル全てを兼ね備えた選手でないとファイナルステージに進めない

## 音楽に合わせて技を繰り広げる競技ヨーヨー

九州大学 理学部 化学科3年生の中村隆一さんは、昨年8月、競技ヨーヨー世界一を決める大会の1A部門で準優勝に輝いた。

ヨーヨーとの出会いは、小学1年時、家の近所のおもちゃ屋さんで行われていたイベントでヨーヨーのパフォーマンスを観たことがきっかけだ。小学2年時に初めて競技大会に出場してから、メキメキと頭角を現し、全国大会や国際大会で活躍するようになった。

制限時間内に音楽に合わせてながら技を繰り広げる競技ヨーヨーは、芸術的要素も必要で、他の競技に例えるならフィギュアスケートに近い。

「音楽選びから技の構成まで、すべてセ

ルフプロデュースします。競技ではありま  
すがエンターテインメントなので、観客に  
感動してもらえると嬉しいです」

ヨーヨーの技は数万にもものぼるという  
が、中村さんはあくまでもオリジナリテ  
イにこだわる。「人の技をまねるよりも、  
オリジナルの技を作る方が何倍も楽しい  
です」

学業と競技ヨーヨーの両立は大変そ  
うに思えるが、「競技ヨーヨーをしています  
と集中力がついてメリハリができます」  
と話す。今年は6月に全国大会、7月  
にアメリカで世界大会が控えている。

「去年の世界大会で自分を出し切った  
ので、今年は新たな表現方法にチャレン  
ジして観客の心を掴みたいです」



▲競技ヨーヨー世界大会でフリースタ  
イルを披露する中村さん



▲競技ヨーヨー世界大会の表彰式にて。  
みんなで記念撮影

# FBC FFGビジネスコンサルティング

## Company Profile

### 確かな情報と戦略でビジネスをサポート

FFGのネットワークを活用した各種ソリューションでお客さまの事業に関する課題解決をお手伝いします



## ふくおかフィナンシャルグループの ネットワークを活かした新たな価値のご提供

FFGビジネスコンサルティングは、ふくおかフィナンシャルグループ3行（福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行）の主要営業基盤である福岡県・熊本県・長崎県を中心とした広域なネットワークを背景に、お取引先の事業展開のサポートや経営に有益な情報提供等、付加価値の高いサービスの提供を行っています。



#### コンサルティング業務

貴社の経営最適化と成長のために  
地域の課題解決と繁栄のために

公認会計士や事業再生サポート等の豊富な経験を持つ弊社コンサルタントが、企業経営の診断や助言、企業の成長戦略のアドバイス、地域の特性を活かした地域振興策等のアドバイスを行います。



#### ビジネスマッチング

ビジネスチャンスを広げ、  
新たな可能性のために

新しいビジネスの創造、販路拡大、生産性向上などのニーズを実現させるため、FFGのお取引先企業同士のビジネスマッチングや商談会の企画・運営を行います。また、各アライアンス企業とのマッチングをお手伝いします。



#### 人材紹介

お取引先の“ヒト”に関する悩みを  
解決するために

「事業承継」「新規事業」「社内体制」など、今後の事業展開を見据えた“ヒト”に関するお悩みに対し、きめ細やかな人材紹介サービスをご提供します。お取引先の企業価値向上、成長に貢献することを目指します。



#### 調査月報

事業に役立つ企業情報と  
新しい発見のために

FFGのネットワークを活かし、福岡県、熊本県、長崎県を中心としたお取引先の企業紹介やトピックス、地域情報、九州の輝く「人」に着目したコンテンツなどを掲載した「FFG調査月報」を発行しています。



#### FFG経営者クラブの 企画・運営

経営者が抱える課題解決のために

「FFG経営者クラブ」は、銀行のお取引先を対象とした会員組織です。さまざまなテーマの人材育成セミナーやインターネット情報サービス、インターネットセミナーなど、会員様の課題解決にお役立ていただけるサービスをご提供しています。



#### 不動産ソリューション

不動産に関する課題解決のために

一級建築士等の資格を保有し、豊富な経験を持つスタッフが、プランニング・マーケット調査・事業性検討を含めた不動産開発計画や、設計会社・施工会社選定などのプロジェクト実行など、貴社が抱えるさまざまなニーズにご対応します。

## コンサルティング部

- 成長戦略立案支援
- 企業再生・改善支援
- 事業計画策定支援
- 事業計画実行支援
- 財務・事業デューデリジェンス
- 企業価値の算定
- グループ再編・経営管理強化支援
- 地方創生・地域課題解決支援
- 地域産業活性化支援
- 地域産品開発等支援
- 地域関係人口創出支援

## ビジネスサポート部

- ビジネスマッチング
- 人材育成セミナー
- 人材紹介
- FFG経営者クラブの運営
- 「FFG調査月報」の発行

## 不動産ソリューション部

- 有効活用・建替え支援
- CRE戦略コンサルティング
- 市場マーケット調査
- 提携不動産業者の紹介
- 研修・セミナー

専門性の高い人材の持つノウハウを活用し、  
お客様の課題解決をサポート

大手コンサル会社出身／公認会計士／1級建築士

お取引先

 福岡銀行

お取引先

 熊本銀行

お取引先

 十八親和銀行

## 会社概要

会 社 名 株式会社FFGビジネスコンサルティング

|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>住 所 ■ 本社・ビジネスサポート部・総務部<br/>〒810-0001<br/>福岡市中央区天神二丁目13番1号(福岡銀行本店ビル)<br/>〈ビジネスサポート部・総務部〉<br/>TEL 092-723-2244 FAX 092-713-6486<br/>〈ビジネスサポート部人材紹介グループ〉<br/>TEL 092-723-2224</p> | <p>■ 不動産ソリューション部・コンサルティング部<br/>〒810-8693<br/>福岡市中央区大手門一丁目8番3号(FFG本社ビル)<br/>〈不動産ソリューション部〉<br/>TEL 092-723-2372<br/>〈コンサルティング部〉<br/>TEL 092-723-2573 FAX 092-713-6615</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

設 立 日 2008年8月1日 資本金 50百万円

ホームページ <https://www.ffgbc.com/>



詳しくはホームページを  
ご覧ください

### ■福岡空港からのアクセス

福岡銀行本店ビル 空港→天神まで市営地下鉄にて11分、  
天神駅から徒歩5分  
FFG本社ビル 空港→大濠公園まで市営地下鉄にて15分、  
大濠公園駅から徒歩7分

### ■JR博多駅からのアクセス

福岡銀行本店ビル 博多→天神まで市営地下鉄にて5分、  
天神駅から徒歩5分  
FFG本社ビル 博多→大濠公園まで市営地下鉄にて9分、  
大濠公園駅から徒歩7分

# FFGの人材ソリューション

## FFGがご提供するヒトにまつわるサービスの概要

### 中途正社員紹介 (人材紹介サービス)

- 提携している人材会社などを活用して正社員候補者をご紹介します。
- 成約の際には理論年収\*の35%(税別)の手数料がかかります。
- 港湾運送業務・建設業務に関する求人依頼はお受けできません。

### 副業・兼業人材紹介

- 自社の課題解決に対して、専門的な知見を有するプロ人材をご紹介します。
- 短期の請負契約で問題解決に素早く着手できます。
- 正社員雇用ではありません。

### 人材派遣 (人材派遣会社紹介)

- 派遣社員確保のための人材派遣会社をご紹介します。
- 派遣社員は一般事務や工場作業で活躍できる人材です。

### 外国人材紹介 (特定技能・高度人材・技能実習生)

- 人口減少が続く中で、活用が注目される人材です。
- 日本語が堪能で高度な学識をもつ人材もいます。
- 初めてのご活用について、導入サポートもご提供できます。

### 採用支援 (高卒採用・採用サイト作成)

- 社員採用のためのサポートをご提供するサービスです。
- 新卒高校生の採用支援、採用サイトの立ち上げ・整備など、様々なサポートをご提供いたします。

### 各種ソリューションを 活用した人事制度構築・ 改善のご支援

- 人事制度の構築・再構築や組織風土診断、組織活性化、人材育成、労務相談など、「ヒト」に関する様々な課題に対応するコンサルティングメニューを揃えています。
- まずはFFGビジネスコンサルティングへご相談ください。

※理論年収＝月次給与・時間外手当の12ヵ月分および理論上の年間賞与、諸手当(交通費除)、報奨金、一時金等の合計額。

## こんなお悩みありませんか・・・

- ◆社員を採用しても、どんどんやめていってしまう
- ◆社員の募集をしても、応募がない、採用できない
- ◆引退したいけど、後継者がいない
- ◆そもそも、人事制度や評価制度がない



お悩みの根っこには、会社の制度に問題があるケースもあります。従業員採用とあわせて、御社の仕組みのチェックが必要かもしれません。FFGは、人事制度の仕組みの見直し等もサポートできます。ふとした疑問でも是非おたずねください。

### お問い合わせ

株式会社FFGビジネスコンサルティング  
ビジネスサポート部 人材紹介グループ

福岡市中央区天神2丁目13番1号 福岡銀行本店ビル5階

TEL092-723-2224

# 長崎だより

長崎の情報を  
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、社会福祉法人 宮共生会 理事長 原田 良太様より『障害のある方々と共に ～22年目の挑戦～』と題し寄稿していただきました。

## 長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



## お問い合わせ

### 株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号  
十八親和銀行本店内  
TEL095-828-8859



ながさき経済web画面

## 長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



# 障害のある方々と共に ～22年目の挑戦～

社会福祉法人 宮共生会 理事長 原田 良太

## はじめに

はじめまして。今回縁あって寄稿させていただくことになった原田良太と申します。

経済関連の冊子に、しかも自分自身の事柄について整理しながら書いていくというのはこんなにも難しいことなのかと、軽々しく話を受けたことを後悔しながらも、折角なので自らを省みる時間とするつもりで書かせていただこうと思います。

私は、長崎県佐世保市瀬道町という地域で育ちました。元々は東彼杵郡宮村といわれていた地域で、1958年に佐世保市に編入し、その際旧瀬道郷が佐世保市瀬道町となりました。

この名残で、通った小中学校は宮小学校、宮中学校といえます。

宮地区は、長崎県佐世保市東南部に位置し、比較的農業が盛んな地域でもあります。みかんやナス、バラや菊の生産農家があり、とりわけみかん農家については徹底した品質管

## Profile



みやきようせいかい

社会福祉法人 宮共生会  
理事長 原田 良太

1978年 長崎県佐世保市生まれ。  
1999年 社会福祉法人の設立準備に携わる。  
2001年に社会福祉法人 宮共生会の職員となって以降、2004年事務長、2011年事務局長にそれぞれ就任。2017年理事長に就任し、現在に至る。  
その他、「hi!keyperson (ハイキーパーソン)」(佐世保市早岐地区を起点として、地域活性化を目指す団体)代表、社会福祉法人ふるさと(西海市)理事、社会福祉法人ながよ光彩会(西彼杵郡長与町)評議員なども兼務している。

理により、単価では日本のトップクラスになったこともある地域です。

そのような地域であることから、幼少期は自然環境の中で遊ぶことが多くありました。宮地区には山も海もありますが、山側に住んでいたため、川遊びや山の中に秘密基地(ツリーハウス)を作って遊んだり、山に化石を掘りに行ったりして過ごしていました。

以上のような幼少期を経て、少し間違っあまり興味のない工業系の高校に進学しましたが、2回目の1年生の時に中退し、そのまま17歳から働きだすこととなりました。





そこから紆余曲折があり、現在所属している法人に雇用されることとなりますが、その辺のお話を少しさせていただければと思います。

## 社会福祉法人 宮共生会との出会い

佐世保市の職員だった私の父は、在職中佐世保市の福祉審議会の委員を務めたことがきっかけで、佐世保市に住む障害のある方の地域における生活実態を知ることとなり、その話を聞く中で、「いつか自分自身で障害のある方の役に立てるような活動をしたい」と考えていたそうです。

そのような中、宮地区近隣に住む障害児の保護者の方々から父へ「障害のある我が子の今後について相談がありました。その相談の際、「（親亡き後を心配し）グループホームを作れないか」、「まだ若いので障害のある子供達の働く場所を作れないか」ということを含めたさまざま

まな話を聞くこととなります。

そこから、佐世保市を招いての勉強会を開催したりしながら、どのような活動を展開すれば障害のある方が安心して地域で暮らせるかを考えていきました。

検討を続けていた1998年頃、佐世保市には当時の障害者施策における知的障害者通所授産施設の設定員枠が残っていることがわかり、まずは「障害のある方の働く場所」を作ろうということになりました。

現在は法体系が変わったため、NPO法人や株式会社でも福祉サービス事業を運営することは可能ですが、1999年当時は、第1種社会福祉事業に位置付けられた事業については社会福祉法人でしか実施することができませんでした。

そこで定員枠の確保と同時に社会福祉法人の設立認可に向けた準備を始める事となりました。

私には7つ上の姉と5つ上の兄がいて、姉は当時すでに結婚しており公務員でもあったため、兄と私の二



社会福祉法人 宮共生会 外観



人が父から呼ばれ、「これから退職金を含めたほとんどの財産を寄付する形で社会福祉法人の設立を進めて障害のある方の働く場所を作っていく、失敗するか成功するかかわらない事業に他人を巻き込むわけにはいかないので二人のうちどちらか手伝わないか？」と言われました。

内心「俺らなら失敗してもいいってことか？」と思いながらも、末っ子である私は長男の回答を聞いてからとっていたら、長男は即答で「俺は福祉の仕事はしない！」ときっぱり。それを聞いて「じゃあ俺が手伝おうか」と、かなり軽いノリで引き受けました。それから、当時アルバイトしていた居酒屋を辞め、社会福祉法人設立に向けた準備に取りかかりました。

設立準備とはいえ、ずっと書類ばかりを作っているわけではなく、昼は創設事業所の建設予定地の造成工事、夕方から書類を作って夜帰ってくる父に書類のチェックをしてもらい、修正をしてまた翌朝は造成工事

といった調子で、当時は何をやっているかよくわからないと感じながらも前に進んでいました。

そうこうしている中、2001年8月に法人の設立認可をいただき、登記を完了させ、同年9月1日に法人の事務員として採用されました。

### 「わらびの里」スタート

国庫補助申請や建設に係る入札の準備等々を済ませ、翌2002年4月1日に知的障害者通所授産施設「わらびの里」をスタートさせることとなりました。

当時、私を含めた職員8名と障害のある20名の方と共に「農業」を作業種目とした新しい事業がスタートしたのでした。

開業前の準備もある程度進んでいたため、4月から夏野菜の苗の販売、田植え、季節野菜の栽培と収穫に至るまで、少しずつですが順調に作業を増やしていくことができました。

しかし、増えていく生産量とは裏



「わらびの里」スタート！



宮地区の風景



ハーベストキッチン

## 新たな事業展開

1つ目は今で言う農福連携の実践です。

宮地区は野菜やみかんの生産と

腹に、数か月かけて栽培した作物は非常に安い金額で売買されており、農業の売上だけで障害のある方の所得を向上させることへの限界を感じ始めていました。  
そこで、売上増を目指して2つの事に着手しました。

あわせて菊やバラ等の花卉類の生産者も多くいらつやいます。その内の菊農家の方からの相談で、「収穫後の根を撤去する作業について、自分たちでやるには時間と手間がかかる、しかし、人を雇うには時間と金銭的なところで合わない」ということで、我々福祉の出番となり、地域営農者と福祉事業者が手を取り合って地域の産業を支える仕組みの実践が始まったのです。

地域営農者にとっては短い時間、必要な部分のみを頼むことができ、

## 社会福祉法人 宮共生会 就労支援事業 作業科目の変遷と売上推移





我々はその労働力に対する現金収入が得られることとなり、売上を増やすことができたのです。

2つ目は「6次産業化」への取り組みです。

これまで1次産業で作られた生産物を、収穫→洗浄→袋詰めして、近隣の生産者市場等へ出荷していましたが、単価は非常に厳しく次の一手を考えなくてはならない状況でした。

そのような時、たまたま立ち寄ったコンビニで、キャベツの千切りが150g入って120円で売られているのを見て、二次加工して付加価値を高めることが重要だと気付きました。

というのも、それまで我々は1kg近くのキャベツを1個120円程度で販売しており、仮に千切りにしてパッキングすれば6袋くらいは作れるのではないかと、5袋売れば600円でこれまでよりも5倍に価値を上げることができる。

このような気付きがあり、そこか

らカット野菜工場の建設に向けた計画をしましたが、結局弁当工場にスライドし、2007年に「ハーベストキッチン」という食品加工所が竣工しました。

現在は1日300〜400食、年間6千万円程度の売上を作り、14名の障害者雇用、その他地域の主婦層を含めたパートを10名程度雇用しており、地域の雇用創出を含めた事業展開ができたと感じています。

## 6次産業化への挑戦

食品加工所の建設をきっかけに、生産した作物をそのまま売るのではなく、第2次産業である加工所で付加価値を高め、第3次産業で販売をする仕組みを（規模は小さいが）作っていくこととなりました。

これでいわゆる1次産業×2次産業×3次産業＝6次産業化と言われる形ができたのではないかと思います。

基本的な考え方としては色々なモノ

づくりをする際、既存の価値をどこまで高められるかを考える癖がついたことが、今でも製品やサービス提供の際の基礎となっているように思います。

## これからのこと

障害者就労支援では前述のようなことを実践してきましたが、障害支援の現場はそれだけではなく、最近では医療的ケアが必要な方の支援実践もしています。

事業所としては2012年から実施しておりますが、いわゆる最重度と言われている障害のある方が通所する事業所となります。

メンバー様（※）の中には、自らの力で排泄する力がなく、看護師による痰の吸引が必要な方や、咀嚼や飲み込みが難しいため胃に直接チューブを繋ぎ、直接経管栄養を注入する等の医療的ケアが必要な方など、障害児者が通所されています。

その保護者は昼夜を問わず、ご本

人の命のために不可欠なあらゆるサポートに身を削られているという話を聞き、更なる事業展開を法人としても取り組むべく、現在次の事業を計画しているところです。

（※）宮共生会では、ご利用者様のことを「メンバー様」と称しています。

## 最後に

2002年にスタッフ8名でスタートした法人ですが、2024年4月現在で195名が所属する法人に成長しました。我々の法人事業が発展することが、障害のある方々の豊かな人生を創造し、地域の中で自分らしく生活することができる環境になっていくと信じて事業展開を継続しています。

我々のことをもっと知ってもらうきっかけを作り、障害のある方々の生活の質を上げていく取り組みをこれからも進めていきたいと考えています。



FFGグループ内で活躍する実業団や  
社会人チーム、部活動、個人スポーツ  
活動を紹介するコーナーです

福岡中央銀行

「フェンシング選手」

# 木村芳徳

福岡中央銀行 野間支店に勤務する銀行員の木村芳徳さん。実はフェンシングの選手でもある。  
今年、国民スポーツ大会出場10回目を迎える木村さんに話を伺った。



## YOSHINORI KIMURA

1990年7月17日生まれ、33歳。福岡県北九州市出身。  
小学5年生からフェンシングを始める。フェンシング強豪校の  
福岡県立福岡魁誠高等学校・中央大学を卒業。2013年、  
福岡中央銀行入行。筑紫通、新室見で融資担当。志免、  
飯塚を経て、現在、野間支店で総合営業を担当。

## 一瞬の隙を突く――



### フェンシングに 打ち込んだ青春時代

福岡中央銀行の銀行員でありながらフェンシング選手という肩書を持つ木村 芳徳さん。

北九州市で生まれ育った木村さんとフェンシングの出会いには小学5年生の時にさかのぼる。漫画『リボンの騎士』に憧れていた母親が、北九州市の総合体育館であったフェンシングの体験教室に申し込んだのがきっかけだ。半年限定の教室だったものの、北九州市内にフェンシングの全日本チャンピオンの先生がおり、そのままその教室に通うことになった。

「通っている人は大人が多く、趣味の延長のような教室でしたが、楽しく通っていました」

高校はフェンシングの強豪校である福岡県立福岡魁誠ふくおかせいせい高等学校に進学した。

「高校で初めて自分と同じ年代でフェンシングをやっている人たちと出会いました。整った練習環境でフェンシングに打ち込み、高校3年生の時、

インターハイ個人3位の結果を残すことができました」

高校卒業後は、フェンシングの環境とサポート体制が整っている中央大学に進学。在学中に全日本個人ベスト8という好成績を残すことができた。

「大学卒業後は福岡で働きたいと思っていました。試合を優先していたため、就職活動をする時間もとれませんでした。そんな中、福岡中央



木村さんが練習している福岡県立福岡魁誠高等学校フェンシング部の皆さんと一緒に



スピード感あふれる激しい攻防が魅力のフェンシング▲  
本番さながらの実践練習を何本もこなす▶

### 30歳を過ぎても活躍 実は選手寿命が長い競技

フェンシングは中世ヨーロッパの騎士たちの剣技に由来するスポーツ。フェンシングの種目には、背中を含む胴体を突く「フルーレ」、頭と腕を含めた上半身を突いたり斬ったりする「サーブル」、全身を突く「エペ」の3種目があり、木村さんは「エペ」の選手。ちなみに、日本では「フルーレ」が主流だが、海外では「エペ」の競技人口が多い。だからこそ、東京五輪で男子エペ団体が金メダルを獲得したことは歴史的快挙だった。

木村さんが考えるフェンシングの魅力は「他のスポーツに比べて選手寿命が長いこと」と言う。若い選手の方が敏捷性や瞬発力、持久力があり優位に思えるが…。

「技術力と経験値でカバーできるので、40代になっても活躍している方が大勢います。私が大学生の頃もトップ選手は30代の社会人でした」

フェンシングは「筋肉を使ったチェス」とも称され、頭脳戦、心理戦の要素が大きいのだと言う。

「競技人口がそれほど多くないので、五輪選手と対戦したり、練習場が同じだったりするのも魅力ですね」

### 佐賀で開催される国スポで 愛娘に雄姿を見せたい！

「今年の国スポは10月に佐賀で開催されます。3歳半の娘にはまだフェンシングをしている姿を見せたことがないので、ぜひ見て欲しいと思っています。それから、今度の国スポが10回目の出場になります。10回出場すると表彰されるので今から楽しみにしています」

今年はバリ五輪の年でもある。木村さんは、フェンシングの日本選手の活躍に期待していると言う。

「テレビ放送などでフェンシングを目にする機会も増えると思いますので、少しでも多くの方がフェンシングに興味を持っていたけると嬉しいです」



福岡中央銀行 野間支店  
住所：福岡市南区野間1丁目11-31



福岡中央銀行 野間支店の皆さん。前列左2人目から浪口支店長、木村さん

夏季企画展

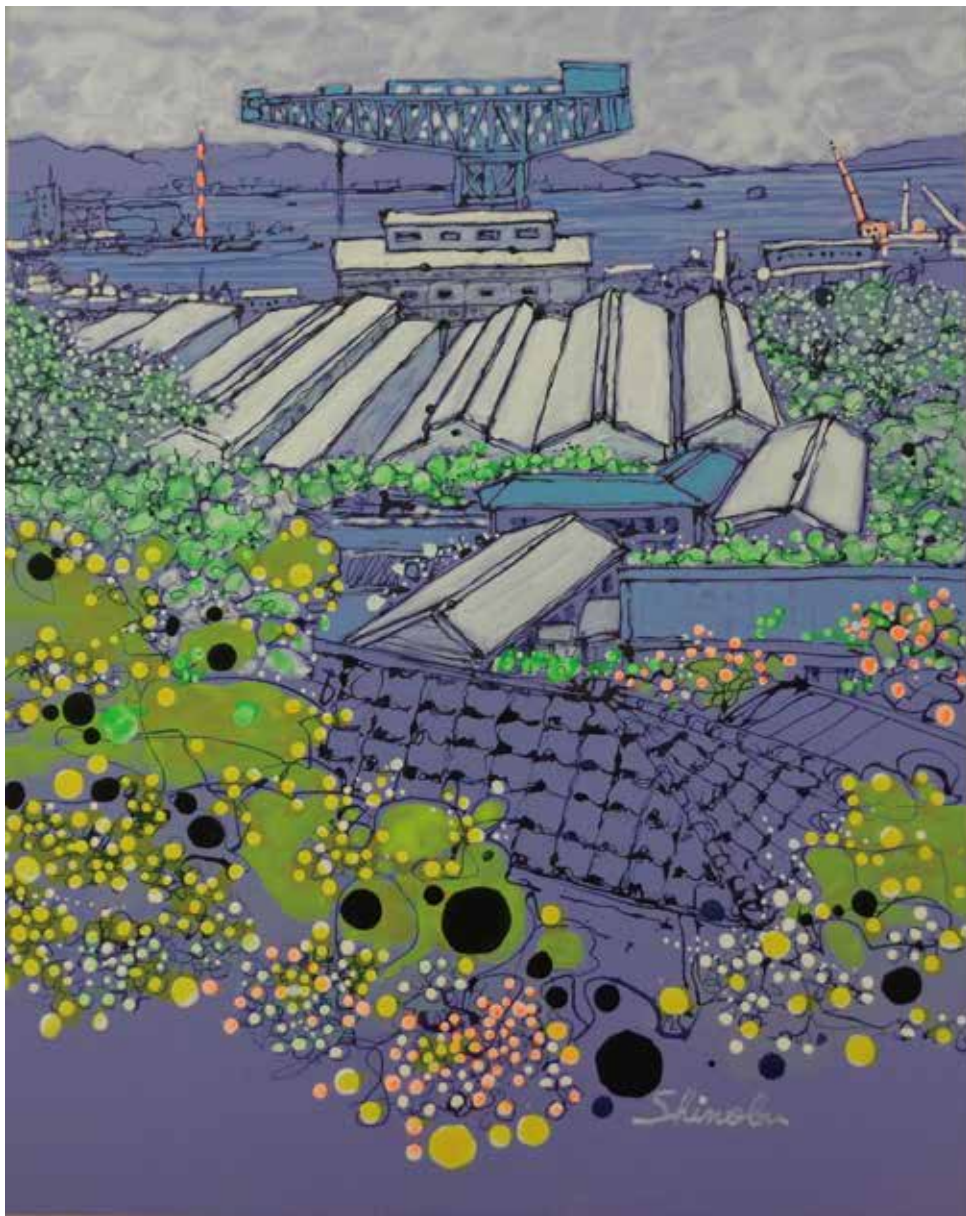
Juhachi-Shinwa Art Gallery Summer Exhibition

# 画家と街並み

市山時一郎没後30年

2024年  
6.7  
(金)

8.31  
(土)



馬場 忍《SSK》2016年制作 水彩 P10号

十八親和アートギャラリーでは6月7日(金)から8月31日(土)まで、季節展示室と絵画展示室1、ホワイエに於いて、夏季企画展「画家と街並み」～市山時一郎没後30年～を開催いたします。

風景画の中でも根強い人気がある街並みは人の営みや地域の特色が色濃く反映され、それらと対峙した画家たちの視点や表現が見どころのひとつです。本展では、一陽会で活躍した澤田正太郎の《聖福寺伽藍》をはじめ、武田範芳の《坂道(東山手風景)》、畑農照雄の《天主堂のある風景》など長崎の街並みのほか、歴史ある欧州の街並みを主題とした作品をご紹介します。また本年が郷土画家・市山時一郎の没後30年の節目であることから、市山の《出津の聖堂》、《長崎の港》、《ラ・マンチャの集落》の3作品を特別展示いたします。油彩画、水彩画、版画による10作品をお楽しみください。

また、陶磁器展示室2に於いて、陶磁器小企画「現代陶工～多彩な表現」を10月26日(土)まで開催しているほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

馬場 忍(ばば・しのぶ):1937～。台湾生まれ。1946年佐世保市に引き揚げる。50年佐賀大学教育学部特設美術科卒業。長崎県立佐世保北高等学校などで美術教師を定年まで勤めた一方で、56年第1回長崎県展入選をはじめ、69年に初渡米しニューメキシコ州立美術館で個展開催など国内外で精力的に発表。アクリル画による抽象画や、水彩画による欧米や佐世保市内の風景画を多数描く。アルバカーキ市名誉市民賞、佐世保市政功労者表彰、公財亜細亜美術協会名誉理事。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

[開館時間] 10:00～16:00(入館は15:30まで)

[休館日] 日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分